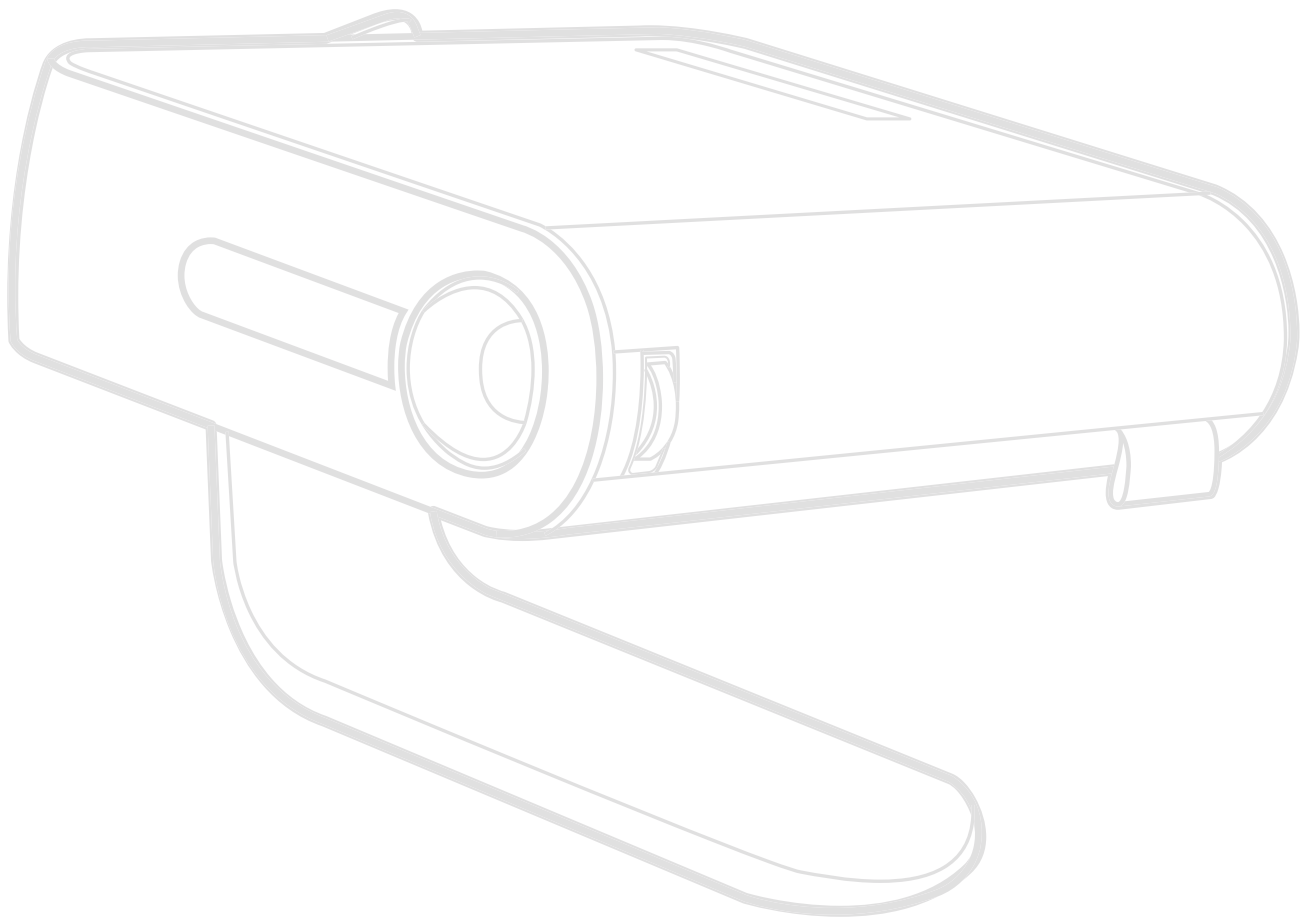


> M1_G2

ポータブル LED プロジェクター ユーザーガイド



モデル番号 VS18241

P/N: M1_G2

ViewSonic® をお選びいただき、ありがとうございます。

ViewSonic® は、ビジュアルソリューションの世界有数のプロバイダとして、技術の進化、革新、シンプルさに対する世界の期待を超えることに専心しています。ViewSonic® では、当社の製品は世界中でプラスの影響を与えることができると考えており、お客様が選択された ViewSonic® 製品がお客様に役立つと確信しています。

繰り返しになりますが、ViewSonic® をお選びいただき、誠にありがとうございます。

> 安全上のご注意

このプロジェクターをお使いになる前に、以下の**安全上のご注意**をよくお読みください。

- 本ユーザーガイドは、安全な場所に保管してください。
- 全ての注意事項を読み、全ての仕様説明に従ってください。
- 換気を妨げないよう、プロジェクターの周囲、最低 50 cm は、清潔な状態を保ってください。
- プロジェクターは風通しの良い場所に置いてください。また、プロジェクターの内部に熱がこもらないように通風孔周辺には物を置かないでください。
- プロジェクターを傾斜や凹凸のある場所、不安定な場所に置かないでください。プロジェクターが倒れて、怪我またはプロジェクターの故障の原因となることがあります。
- プロジェクターが左右に 10 度以上傾いたり、前後に 15 度以上傾いた状態で使用しないでください。
- 操作中はプロジェクターレンズを直視しないでください。強烈な光線により目を傷めることがあります。
- プロジェクターのランプが点灯しているときは、必ずレンズシャッターを開くか、レンズキャップを取り外してください。
- プロジェクターの動作中は、投影レンズを物で塞がないでください。物が加熱されて変形したり、火災の原因となる可能性があります。
- 動作中はランプが非常に高温になります。交換のためにランプアセンブリを取り外す前に、プロジェクターを約 45 分間冷却してください。
- 定格ランプ寿命を超えてランプを使用しないでください。定格寿命を超えて過度にランプを使用すると、まれにランプが破損する可能性があります。
- プロジェクターの電源プラグを抜かない限り、ランプアセンブリまたは電子部品を交換しないでください。
- プロジェクターを分解しないでください。内部に危険な高電圧があり、通電箇所に触れると、死亡する可能性があります。
- プロジェクターを移動させる際は、落としたり、何かにぶつけないように十分にご注意ください。
- また、プロジェクターまたは接続ケーブルの上には重いものを置かないでください。
- プロジェクターを垂直に立てないでください。そうすることで、プロジェクターが倒れて、怪我またはプロジェクターの故障の原因となることがあります。
- プロジェクターは直射日光の当たる場所に置かないでください。ラジエーター、ヒートレジスタ、ストーブ、またはプロジェクターの温度を危険なレベルまで上昇させる可能性のあるその他の装置（アンプを含む）などの熱源の近くに設置しないでください。

- プロジェクターの近くまたは上に液体を置かないでください。プロジェクター内に液体がこぼれた場合、故障する可能性があります。プロジェクターが濡れた場合は、電源から外し、最寄りのサービスセンターに電話して、プロジェクターの修理を依頼してください。
- プロジェクターが動作しているとき、換気グリルから熱気や臭いを感じることがあります。これは正常な動作であり、故障ではありません。
- 分極プラグや接地プラグの安全規定を妨げないようにしてください。分極プラグは2つのブレードがあり、一方がやや幅広になっています。アースタイプのプラグには、2本のブレードと1本のアース用突起があります。幅の広いブレードとアース用ブレードは、安全のために用意されています。プラグがコンセントに合わない場合は、形状が一致する変換アダプタをご使用ください。
- プラグをコンセントに接続するときは、アース端子を絶対に取り外さないでください。
- プラグや電源コードが、何か物に踏まれたり、挟まれたりしないようにしてください。プロジェクターから突出した電源コード部分は、特に注意してください。
- 国によっては、電圧が安定していません。このプロジェクターは、AC100 ~ 240V の電圧範囲で安全に動作するように設計されていますが、停電または ± 10V のサージが発生すると故障することがあります。電圧が変動したり、遮断される可能性がある場所では、電源安定装置、サージ保護装置、または無停電電源装置 (UPS) を介してプロジェクターを接続することをお勧めします。
- 万一、煙、異音、異臭などが発生した場合は、直ちにプロジェクターの電源を切り、販売店または ViewSonic® にご連絡ください。そのままご使用を続けることは大変危険です。
- 付属品 / アクセサリはメーカーが指定する物のみをご使用ください。
- 長期間使用しない場合には、コンセントから電源コードを抜いてください。
- 製品の修理は、認定されたサービス担当者にご依頼ください。

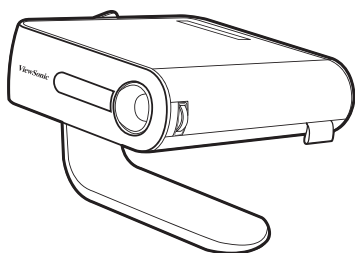
> 目次

安全上のご注意	3
はじめに.....	7
付属品	7
各部の名称	8
プロジェクター	8
リモコン	9
リモコン - 有効範囲	10
リモコン - 電池の交換	10
セットアップ	11
場所の選択 - 投影方向	11
投影寸法	12
本体の接続	13
電源との接続	13
DC電源（電源コンセント）	13
電源バンク機能による電源投入	14
バッテリーの使い方	14
バッテリー使用時間情報	14
外付け機器への接続	15
HDMI接続	15
USB接続	15
マイクロSD	15
プロジェクターの使用方法	16
プロジェクターを起動する	16
投影画像を調整する	17
プロジェクターの高さと投影角度を調整する	17
フォーカスの調整	17
初めて起動する場合	18
Preferred Language (使用言語)	18
Projection Orientation (投影方向)	19
プロジェクターをシャットダウンする	20
選択された入力ソース - オンスクリーンディスプレイ (OSD) ツリー	21

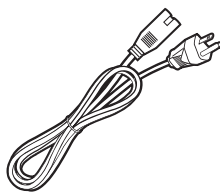
プロジェクターを操作する.....	31
Home Screen (ホーム画面)	31
Home Screen (ホーム画面) - オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューツリー	32
メニュー操作	35
File Management (ファイル管理)	35
メディアコントロールバーのボタンの使用方法	37
サポートされるファイル形式	38
付録	50
仕様	50
タイミングチャート	51
HDMI/USB-Cビデオのタイミング	51
HDMI/USB Cビデオのタイミング	52
3Dサポートタイミング	53
LEDインジケーター	54
トラブルシューティング	55
メンテナンス	57
お手入れの際の注意	57
レンズを清掃する	57
ケースのお手入れ	57
プロジェクターを保管する	57
規制およびサービス情報	58
コンプライアンス情報	58
FCCコンプライアンス声明	58
FCC放射線被ばく声明	59
IC警告に関する声明	59
国コードに関する声明	59
IC放射線被ばくに関する声明	60
欧州諸国のCE適合	60
RoHS2コンプライアンス宣言	61
インドの有害物質規制	62
製品ライフサイクル終了時の製品の廃棄	62
著作権情報	63
カスタマーサポート	64
限定保証	65

> はじめに

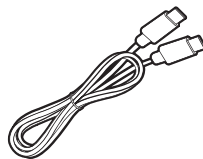
付属品



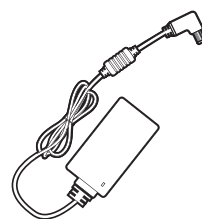
①



②



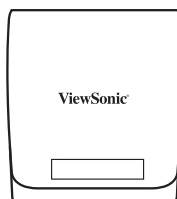
③



④



⑤



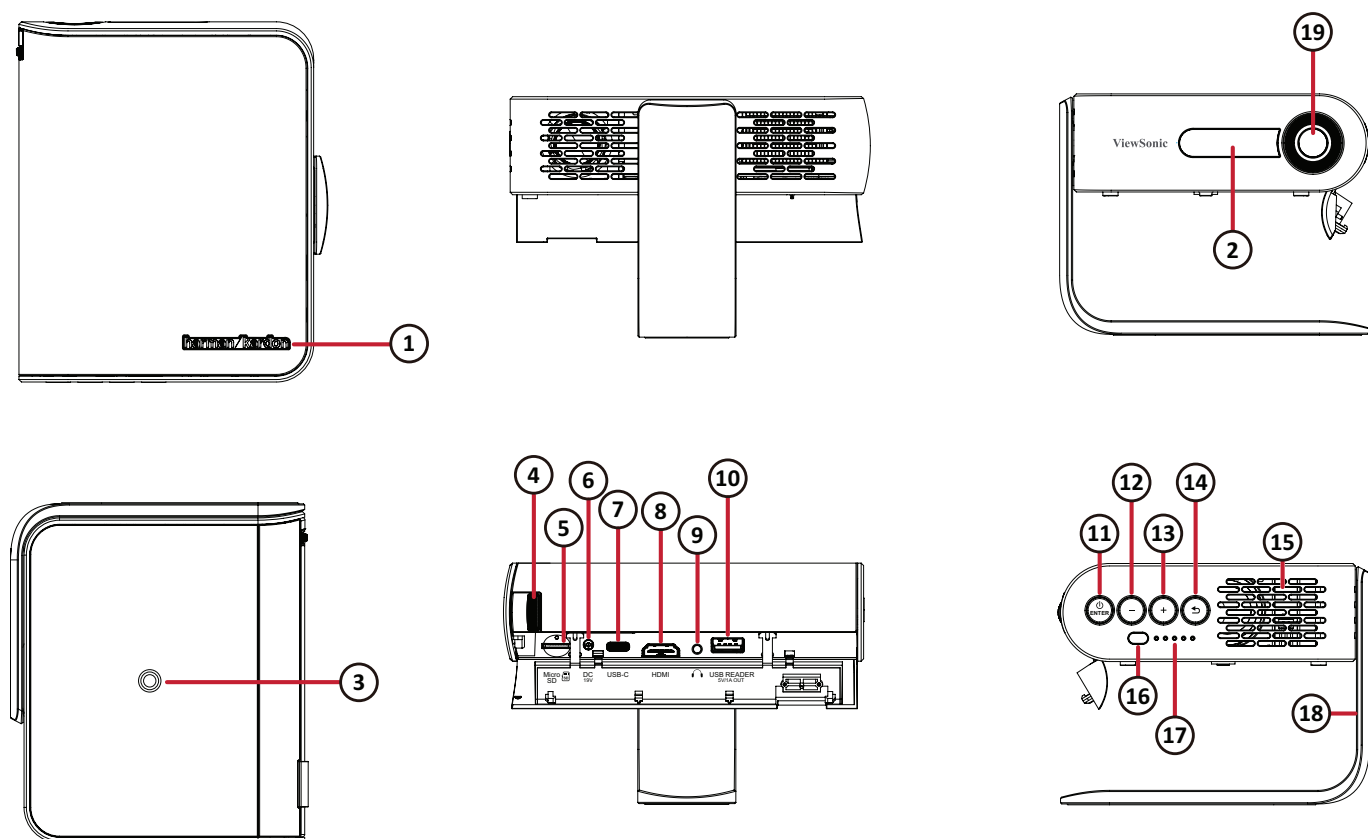
⑥



⑦

項目	詳細
[1]	プロジェクター
[2]	電源コード
[3]	USB タイプ C ケーブル
[4]	電源アダプタ
[5]	リモコン(電池付き)
[6]	キャリーバッグ
[7]	クイックスタートガイド

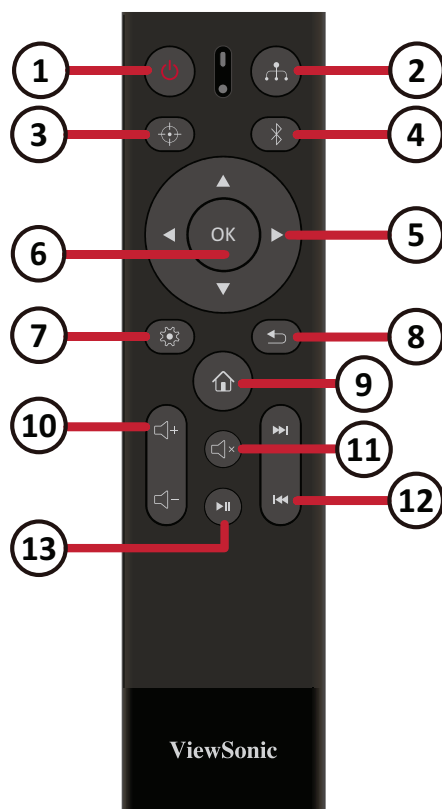
各部の名称 プロジェクター



項目	詳細	項目	詳細
[1]	スピーカー	[11]	Enter ¹ / 電源ボタン ²
[2]	IR レシーバー	[12]	音量(下) ³
[3]	三脚マウント	[13]	音量(上) ⁴
[4]	フォーカスリング	[14]	戻る ⁵
[5]	マイクロ SD スロット	[15]	スピーカー PR
[6]	DC 入力	[16]	IR レシーバー
[7]	USB-C	[17]	電池インジケーター
[8]	HDMI	[18]	スマートスタンド
[9]	オーディオ出力	[19]	レンズ
[10]	USB タイプ A		

- 1 選択したオンスクリーンディスプレイ (OSD) メニュー項目を有効にします。
- 2 プロジェクターの電源をオン / オフするには、3 秒間押し続けます。
- 3 OSD メニューが有効になっていない場合は、音量レベルを下げます。下。
- 4 OSD メニューが有効になっていない場合は、音量レベルを上げます。上。
- 5 ソースリストを表示するには、3 秒間押し続けます。

リモコン



ボタン	詳細
[1] 電源	プロジェクターをオンまたはオフにします
[2] ソース	入力ソース選択メニューを表示します
[3] フォーカス	画像に自動的に焦点を合わせます ¹
[4] Bluetooth モード	Bluetooth を有効にします ¹
[5] 上 / 下 / 左 / 右	ナビゲートしてメニュー項目を選択します。 キーストーン調整
[6] OK	選択を確定します
[7] 設定	設定メニューを表示します
[8] 戻る	前の画面に戻ります
[9] ホーム	ホーム画面にアクセスします
[10] 音量制御	音量レベルを増減します
[11] ミュート	音量をミュートします
[12] 次へ / 前へ	次へ / 前へ移動します
[13] 再生 / 一時停止	メディアを再生または一時停止します

¹ **注意事項:** このモデルはこの機能をサポートしていません。

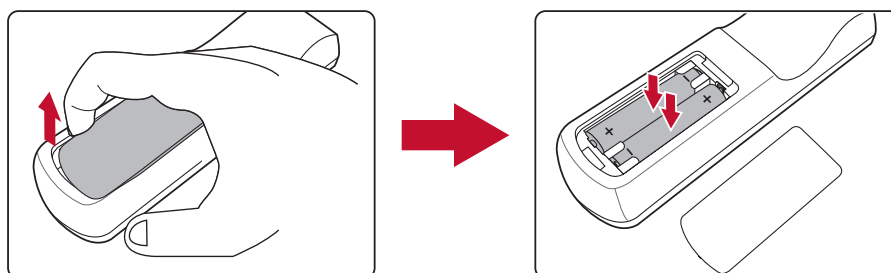
リモコン - 有効範囲

リモコンが正しく機能するようにするために、次の手順に従ってください。

1. リモコンを、プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して 30°以内の角度で保持してください。
2. リモコンとセンサーの間の距離が、8 m (26 フィート) を超えないようにしてください。

リモコン - 電池の交換

1. 電池カバーを開けるには、リモコンを裏返して背面を確認し、矢印の方向にカバーを開けます。
2. 既存の電池を取り外し(必要な場合)、電池収納部の底に示されている電池の極性に注意して、2 本の単四電池を取り付けます。正 (+) は正極になり、負 (-) は負極になります。
3. 電池トレイをベースに合わせて押し込み、元の位置に戻します。



注意事項：

- リモコンと電池を暑い場所や湿気の多い場所に放置しないでください。
- 電池メーカーが推奨するものと同じまたは同等のタイプのもののみと交換してください。
- 電池が消耗している場合、またはリモコンを長期間使用しない場合は、リモコンの損傷を防ぐために電池を取り外してください。
- 使用済みの電池は、メーカーの指示および地域の環境規制に従って処分してください。

> セットアップ

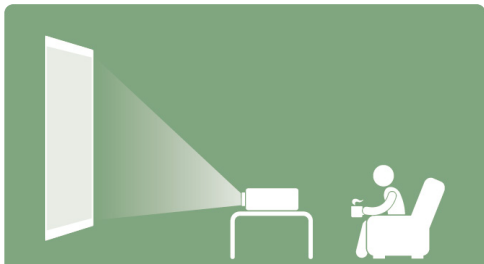
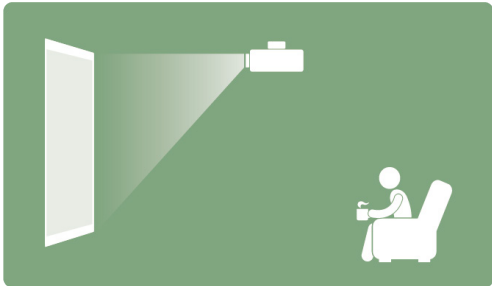
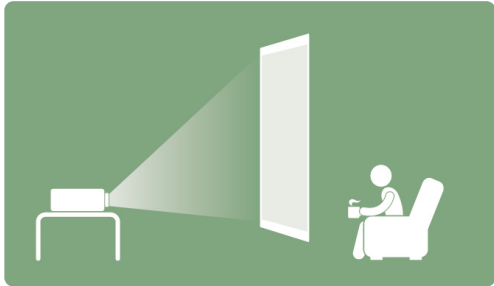
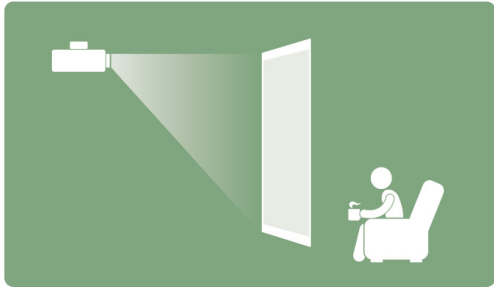
本章では、プロジェクターのセットアップについてご説明します。

場所の選択 - 投影方向

設置場所は、個人の好みや部屋のレイアウトによって決まります。次の点を考慮してください。

- スクリーンのサイズと位置。
- 適切なコンセントの場所。
- プロジェクターと他の装置との間の場所と距離。

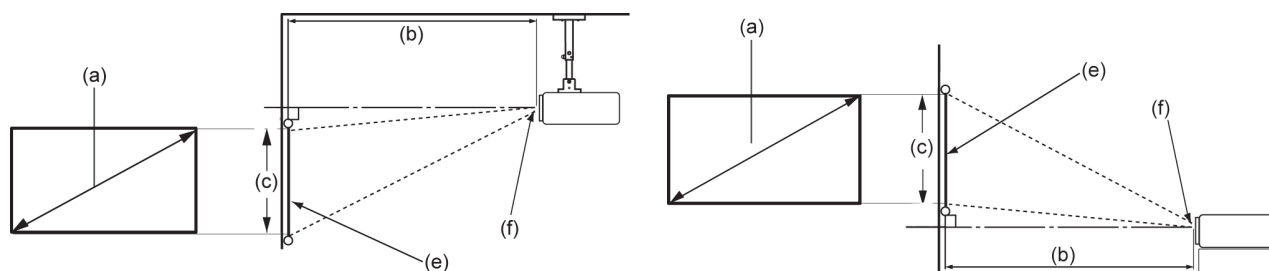
プロジェクターは、次のいずれかの場所に設置するように設計されています。

場所	
前面机上 プロジェクターはスクリーンの正面の床の近くに配置されます。	
前面天井 プロジェクターは、スクリーンの正面の天井から上下逆に吊り下げられます。	
背面机上¹ プロジェクターは、スクリーンの後ろの床の近くに配置されます。	
背面天井¹ プロジェクターは、スクリーンの後ろの天井から上下逆に吊り下げられます。	

1. 背面投影スクリーンが必要です。

投影寸法

- 16:9 スクリーン上の 16:9 画像



注意事項： (e) = スクリーン / (f) = レンズ中心

16:9 スクリーン上の 16:9 画像

(a) スクリーン サイズ		(b) 投影距離		(c) 画像の高さ		画像の幅	
インチ	cm	インチ	m	インチ	cm	インチ	mm
30	76.2	32.16	0.82	14.7	37.36	26.15	664
40	101.6	42.88	1.09	19.6	49.81	34.86	886
50	127	53.6	1.36	24.5	62.26	43.58	1107
60	152.4	64.32	1.63	29.4	74.72	52.29	1328
70	177.8	75.04	1.91	34.3	87.17	61.01	1550
80	203.2	85.76	2.18	39.2	99.62	69.73	1771
90	228.6	96.48	2.45	44.1	112.07	78.44	1992
100	254	107.2	2.72	49	124.53	87.16	2214

注意事項： 光学部品のばらつきにより、これらの数値には3%の許容誤差があります。プロジェクターを恒久的に設置する前に、投影サイズと距離を物理的にテストすることをお勧めします。

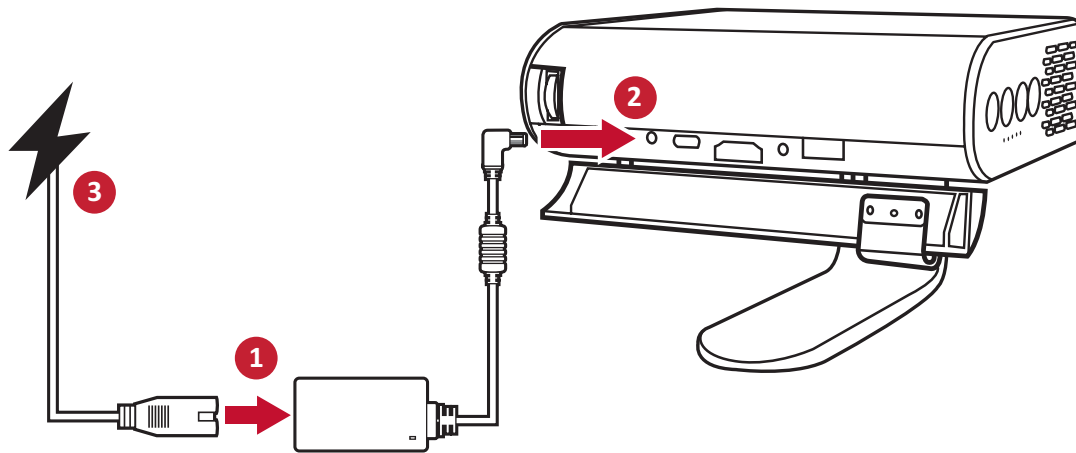
> 本体の接続

本章では、プロジェクターと他の装置との接続方法をご説明します。

電源との接続

DC 電源 (電源コンセント)

1. 電源コードを電源アダプタに接続します。
2. プロジェクターの側面にある DC 入力ジャックに電源アダプターを接続します。
3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。接続すると、ステータス LED が赤色に変わります。

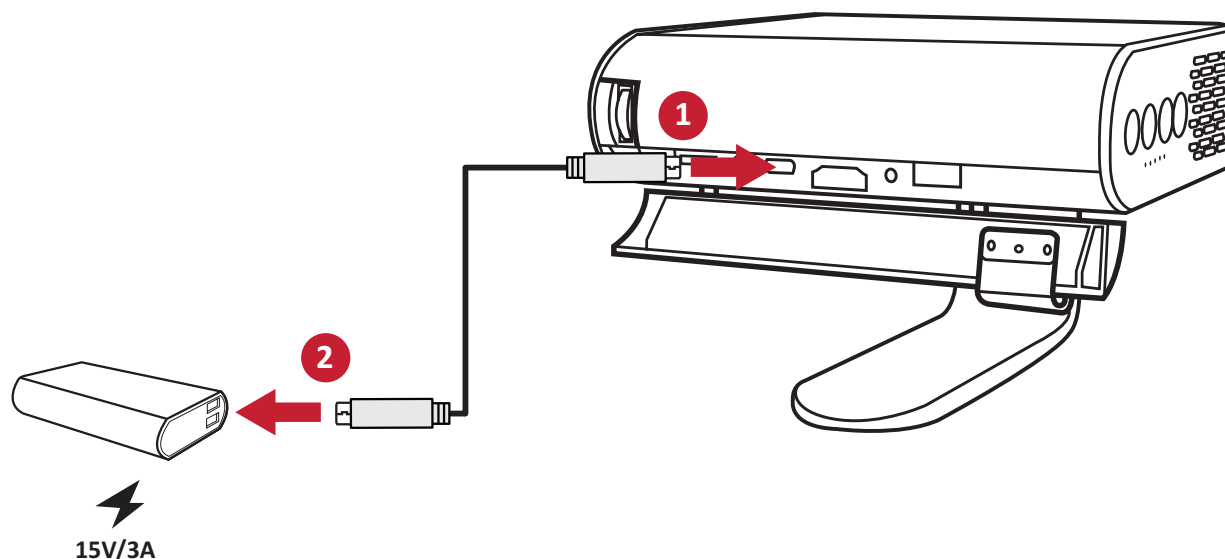


注意事項:

- プロジェクターを初めてバッテリーモードで使用する前に、電源アダプタを介してプロジェクターを 4.5 時間充電します。

電源バンク機能による電源投入

プロジェクターは、電源バンクからも給電できます。



プロジェクターの電源を入れるには：

1. USB タイプ C ケーブルの一端をプロジェクタの **USB-C** ポートに接続します。
2. USB タイプ C ケーブルの他端を電源バンクに接続します。

注意事項： 電源バンクは、少なくとも 45W (15V/3A) で、Power Delivery (PD) プロトコル出力をサポートするようにしてください。さらに、15V/3A では、プロジェクターの電源を入れて同時に充電することができます。

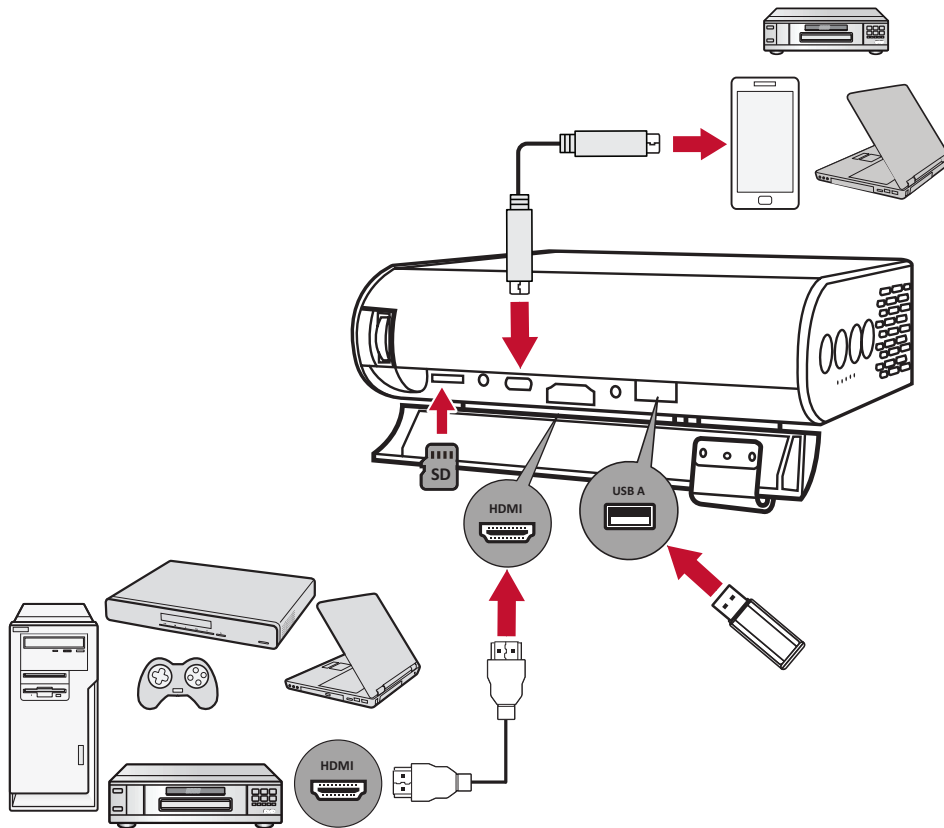
バッテリーの使い方

バッテリーレベルアイコンは、**Home Screen (ホーム画面)** の右上に表示されます。バッテリーの電力レベルが低下すると、画面に「バッテリー低下メッセージ」が表示されます。

バッテリー使用時間情報

充電	約 4.5 時間
使用時間	最大 6 時間 (電池節約) 最大 4 時間 (拡張エコ) 最大 3 時間 (エコ) 最大 2.5 時間 (フル)
バッテリーレベルインジケーター (充電)	充電中: 白色 LED ライトの点滅 フル充電: 白色 LED ライトの点灯

外付け機器への接続



HDMI 接続

HDMI ケーブルの片方をビデオ機器の HDMI ポートに接続し、次に、ケーブルのもう一方の端をプロジェクターの **HDMI** ポート (HDCP 1.4/HDMI 1.4 をサポート) に接続します。

USB 接続

USB タイプ A 接続

写真、音楽、映画を楽しむには、USB フラッシュドライブを **USB タイプ A** ポートに接続してください。サポートされているファイル形式については、38 ページを参照してください。

USB-C 接続

USB タイプ C ケーブルの一端を機器の USB-C ポートに接続し、ケーブルの他端をプロジェクタの **USB-C** ポートに接続します。

注意事項：

- USB タイプ C 機器がビデオ転送をサポートできることを確認してください。
- 接続されたデバイスも充電できます (5V/2A)。

マイクロ SD

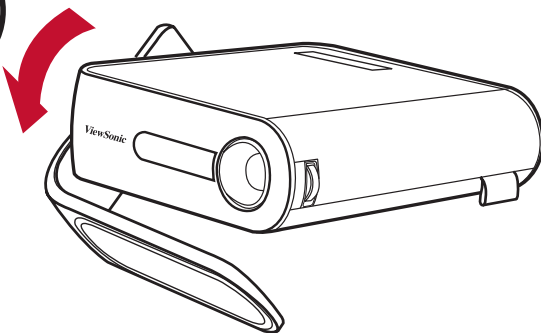
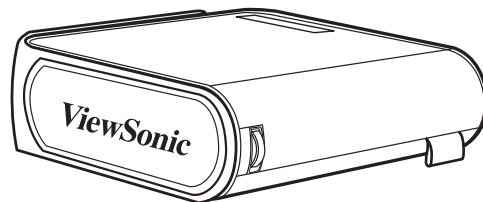
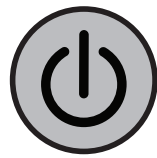
写真、音楽、映画を楽しむには、マイクロ SD を**マイクロ SD** スロットに接続してください。サポートされているファイル形式については、38 ページを参照してください。

注意事項： FAT32 形式と最大 64 GB のみをサポートします。

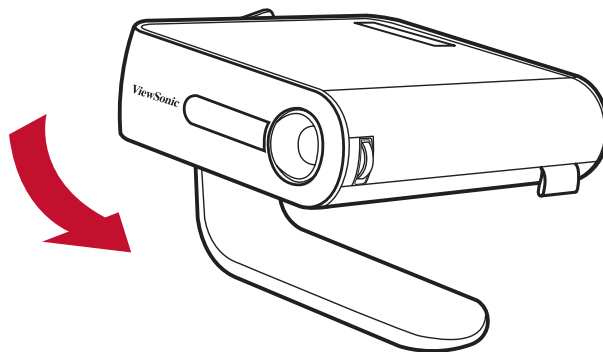
> プロジェクターの使用法

プロジェクターを起動する

1. プロジェクターが電源に接続されているか、バッテリーが十分に充電されていることを確認してください。
2. レンズカバーを下に動かして、スマートスタンドを開きます。



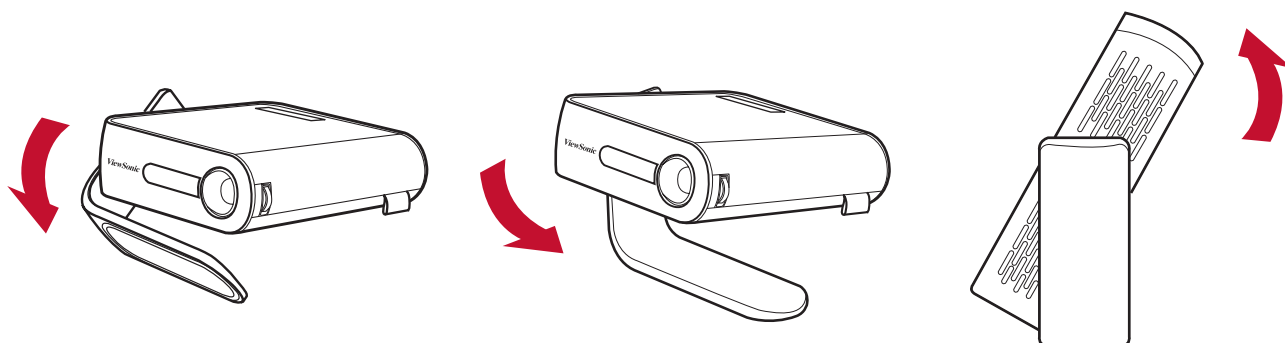
3. スマートスタンドを希望の視野角に移動します。



投影画像を調整する

プロジェクターの高さと投影角度を調整する

プロジェクターには、1つのスマートスタンドが装備されています。スタンドを調整すると、プロジェクターの高さと垂直投影角度が変わります。スタンドを慎重に調整して、投影画像の位置を微調整します。

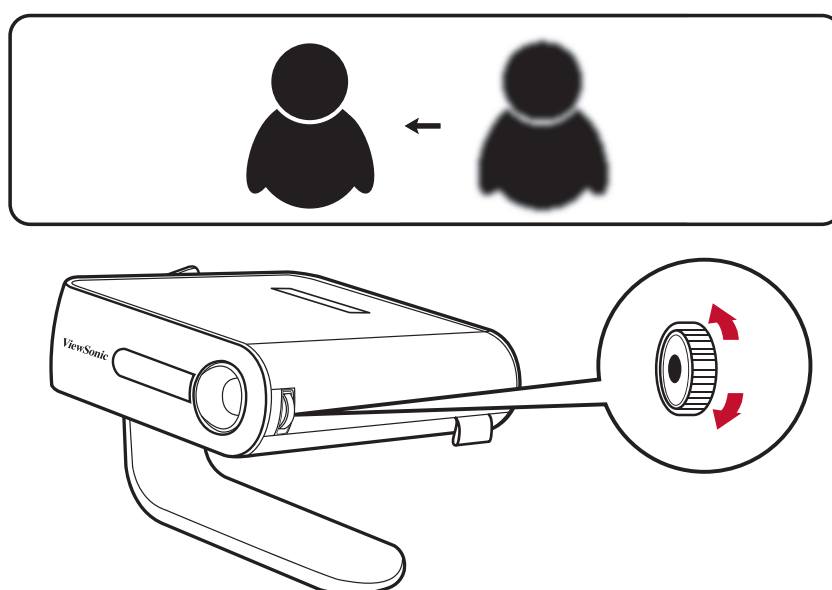


注意事項:

- プロジェクターが平らな面に置かれていない場合、またはスクリーンとプロジェクターが互いに垂直でない場合は、投影画像が台形になることがあります。ただし、「自動垂直キーストーン」機能は問題を自動的に修正します。

フォーカスの調整

画面上の画像のフォーカスを調整するには、フォーカスリングをゆっくり上下に動かします。



初めて起動する場合

プロジェクターを初めて起動する場合、優先する言語と投影する向きを選択する必要があります。リモコンの **OK**、**上 / 下 / 左 / 右** ボタンを使用して、画面上の指示に従ってください。「完了画面」が表示されたら、プロジェクターの使用準備が整ったことを表します。

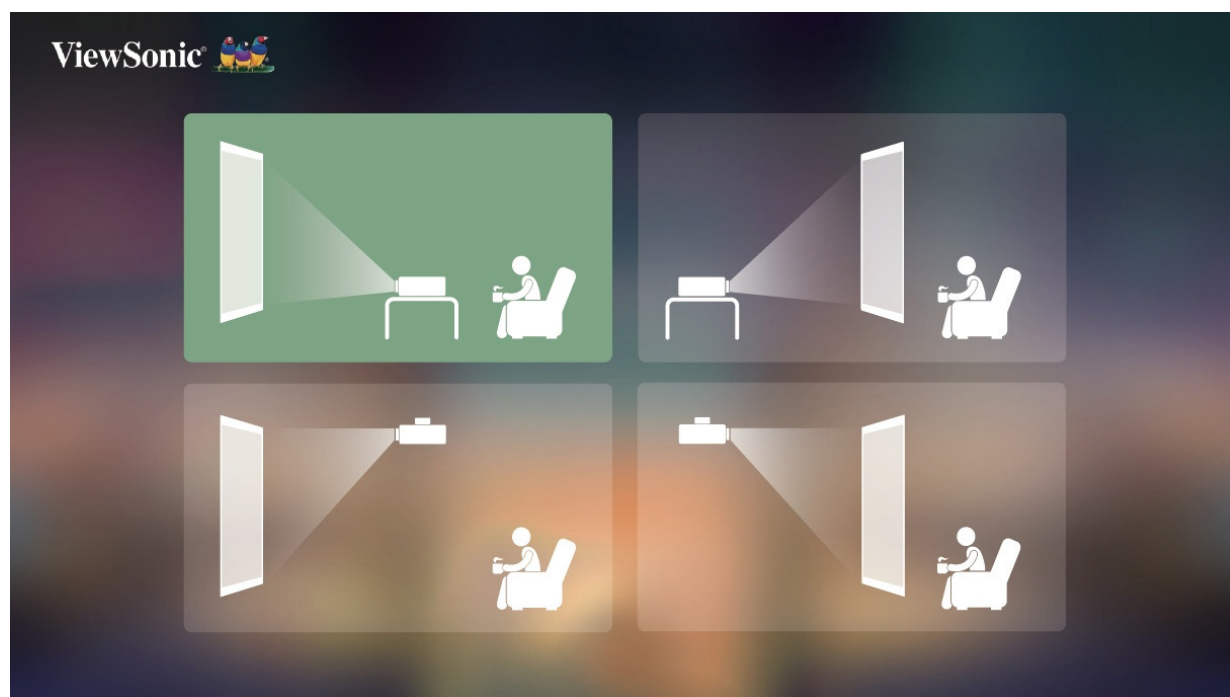
Preferred Language (使用言語)

希望の言語を選択し、**OK** を押して選択を確定します。



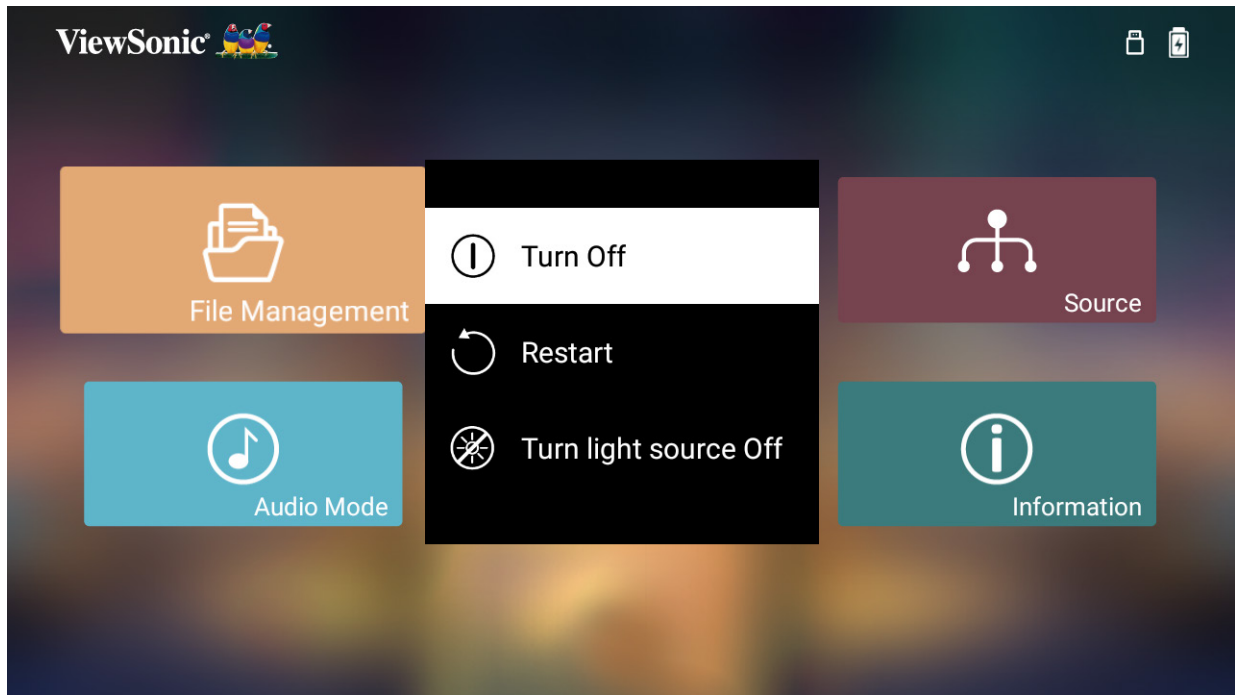
Projection Orientation (投影方向)

好ましい投影方向を選択し、**OK** を押して選択を確定します。詳細については、11 ページを参照してください。



プロジェクターをシャットダウンする

1. プロジェクターの**電源**ボタンを 3 秒間押し続けるか、リモコンの**電源**ボタンを押します。
2. リモコンの**電源**ボタンを押すと、次のメッセージが表示されます。



3. リモコンの**上 / 下**ボタンを押して、**Turn Off (オフにする)** を選択し、リモコンの **OK** を押します。

注意事項： 使用しない場合は、**電源**ボタンを押して電源を切ります。リモコンの電源ボタンだけを使用して電源を切ると、プロジェクターはスタンバイモードになり、内蔵バッテリーはまだ電力を消費します。

選択された入力ソース - オンスクリーンディスプレイ (OSD) ツリー

入力ソースを選択したら、Image Setting (画像設定) および Advanced (詳細) メニューを調整できます。

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション
Image Setting (画像設定)	Color Mode (カラーモード)	Brightest (最も明るい)
		TV (テレビ)
		Movie (映画)
		Gaming (ゲーム)
	Brightness (輝度)	(-/+, 0 ~ 100)
	Contrast (コントラスト)	(-/+, 0 ~ 100)
	Color Temp (色温度)	6,500K
		7,500K
		9,300K
	Tint (色合い)	(-/+, 0~100)
	Saturation (彩度)	(-/+, 0~100)
	Sharpness (シャープネス)	(-/+, 0~100)
	Gamma (ガンマ調整)	1.8
		2.0
		2.2
		2.35
		2.5
		sRGB
		Cubic (キュービック)
	Reset Current Color Settings (現在の色設定 をリセット)	Yes (はい)
		Cancel (キャンセル)

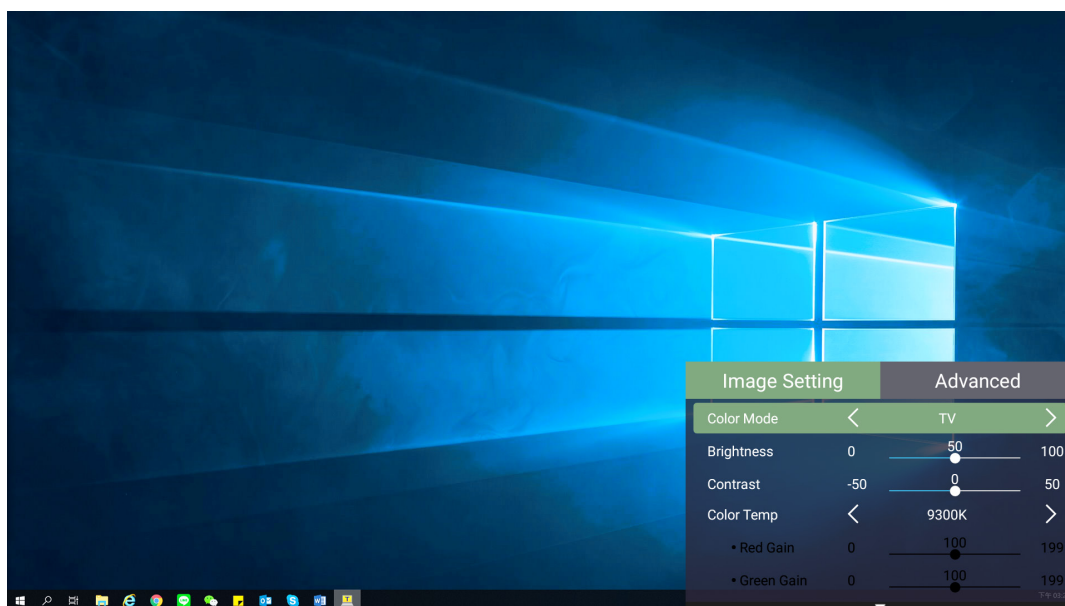
メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Advanced (高度)	Aspect Ratio (アスペクト比)	Auto (自動)	
		4:3	
		16:9	
	HDMI Settings (HDMI 設定)	Range (範囲)	Auto (自動)
			Full (フル)
			Limited (限定)
	3D Settings (3D 設定)	3D Sync (3D 同期)	Auto (自動)
			Off (オフ)
			Frame Sequential (フレームシーケンシャル)
			Frame Packing (フレームパッキング)
			Top-Bottom (トップ・ボトム)
			Side-by-Side (サイド・バイ・サイド)
		3D Sync Invert (3D 同期反転)	Disable (オフ)
			Invert (反転)
	harman/kardon (ハーマン / カードン)	Audio Mode (オーディオモード)	Movie (映画)
			Music (音楽)
			User (ユーザー)
		Audio Volume (音量)	(-/+ , 0~20)
		Mute (ミュート)	Off (オフ)
			On (オン)
	Light Source Level (光源 レベル)	Full (フル)	
		Eco (エコ)	
		Extended Eco (拡張エコ)	
		Battery Saving (電池節約)	
	Information (インフォ メーション)	Source (ソース)	例:HDMI
		Resolution (解像度)	例:1920 x 1080 @ 60Hz
		3D Format (3D 形式)	例:Frame Packing (フレームパッキング)

Image Setting (画像設定) メニュー

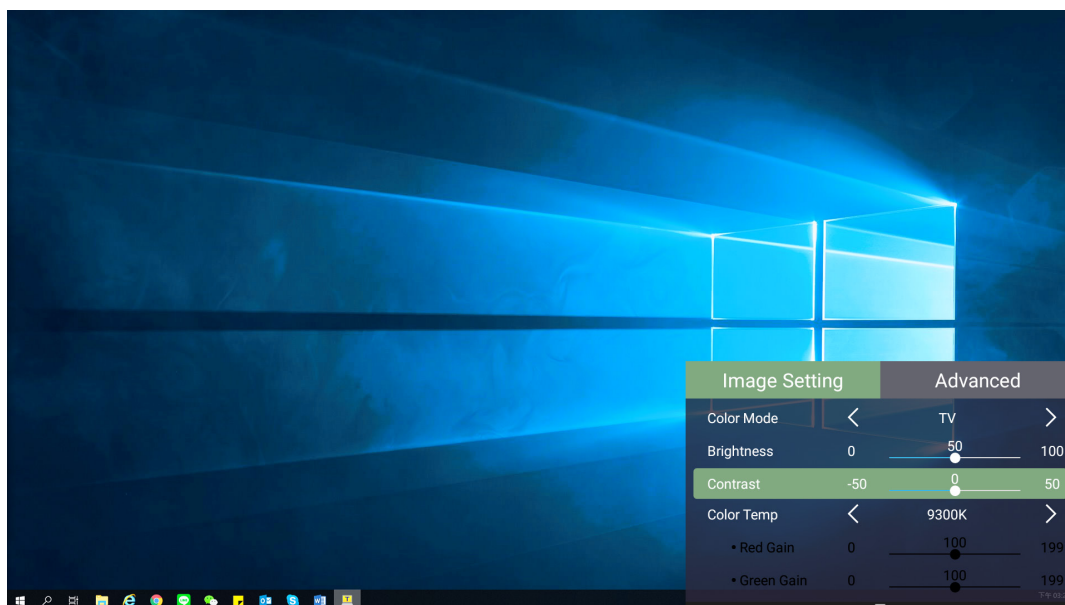
入力ソースを選択したら、Image Setting (画像設定) メニューを調整できます。

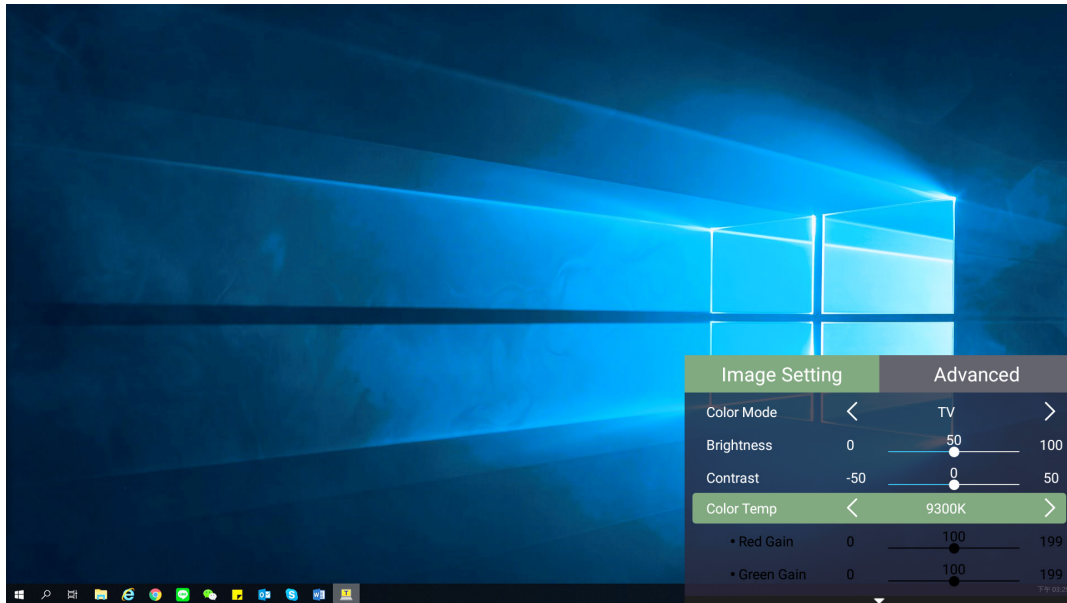
Image Setting (画像設定) メニューにアクセスするには：

1. リモコンの**設定**を押します。

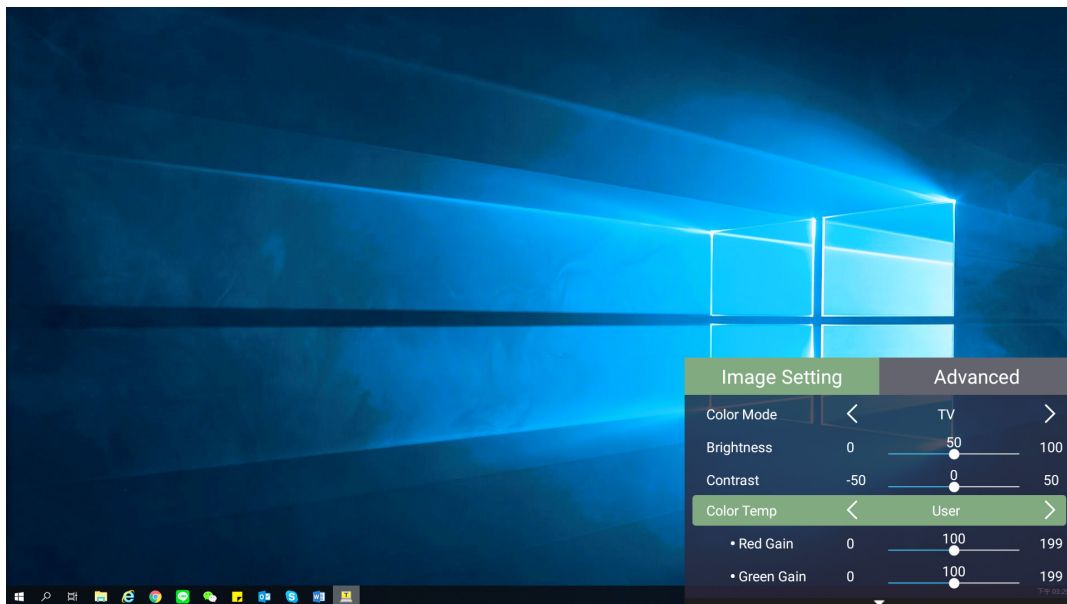


2. 上 / 下ボタンを使って、メニューを選択します。







3. 次に、**左 / 右**ボタンを使って、サブメニューに入る、および / または、設定を調整します。



4. **戻る**ボタンを押して、前のメニューに戻るか、終了します。

メニューオプション	詳細
Color Mode (カラーモード)	<p>プロジェクターは、動作環境と入力信号に合わせて選択できるように、いくつかの定義済みピクチャモードでプリセットされています。</p> <p><u>Brightest (最も明るい)</u> 投影画像の明るさを最大にします。このモードは、非常に高い明るさが必要な環境、つまり明るい部屋に適しています。</p> <p><u>TV (テレビ)</u> 明るい環境でスポーツを見るために最適化されています。</p> <p><u>Movie (映画)</u> カラフルな映画、デジタルカメラのビデオクリップ、または PC 入力による DV に適しています。暗い場所での使用に最適です。</p> <p><u>Gaming (ゲーム)</u> ビデオゲーム用に設計されています。</p> <p>注意事項： HDMI/USB-C 信号入力にのみ対応しています。</p>
Brightness (輝度)	<p>値が大きいほど、画像は明るくなります。値を小さくすると、画像が暗くなります。</p> <div data-bbox="604 1326 1329 1527">  <div> <div>0</div> <div>50</div> <div>100</div> </div> </div>
Contrast (コントラスト)	<p>選択した入力と視聴環境に合うように、Brightness (輝度) 設定を以前に調整した後で、これを使用してピークホワイトレベルを設定します。</p> <div data-bbox="588 1709 1345 1910">  <div> <div>0</div> <div>50</div> <div>100</div> </div> </div>

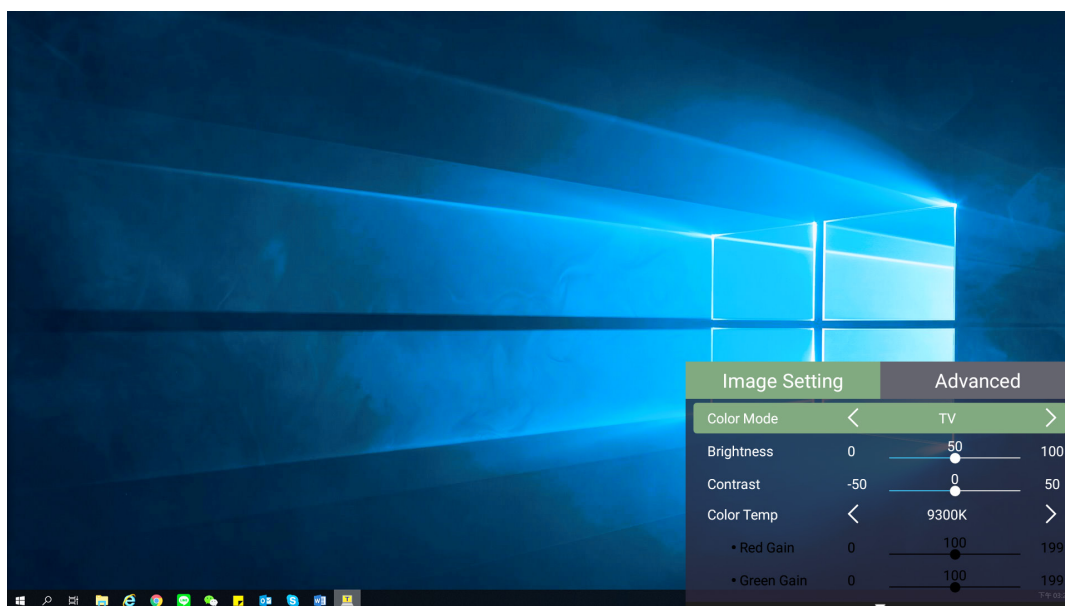
メニューオプション	詳細
Color Temp (色温度)	色温度を選択し設定することができます。 <ul style="list-style-type: none"> • 6500K: 通常の白の着色を維持します。 • 7500K: 6500K より高い、より冷たい色温度。 • 9300K: 最高の色温度。画像を最も青白く見せます。
Tint (色合い)	値が高いほど、画像は緑色が強くなります。値が低いほど、画像は赤色が強くなります。
Saturation (彩度)	ビデオ画像のその色の量を指します。設定を低くすると、彩度が低くなります。実際、「0」に設定すると、画像からその色が完全に削除されます。彩度が高すぎると、その色が圧倒的になり、非現実的になります。
Sharpness (シャープネス)	値が大きいほど鮮明な画像になります。低い値では画像が柔らかくなります。
Gamma (ガンマ調整)	入力ソースと画像輝度の関係を反映しています。
Reset Current Color Settings (現在の色設定をリセット)	現在の色設定をデフォルト値に戻します。

Advanced (詳細) 設定メニュー

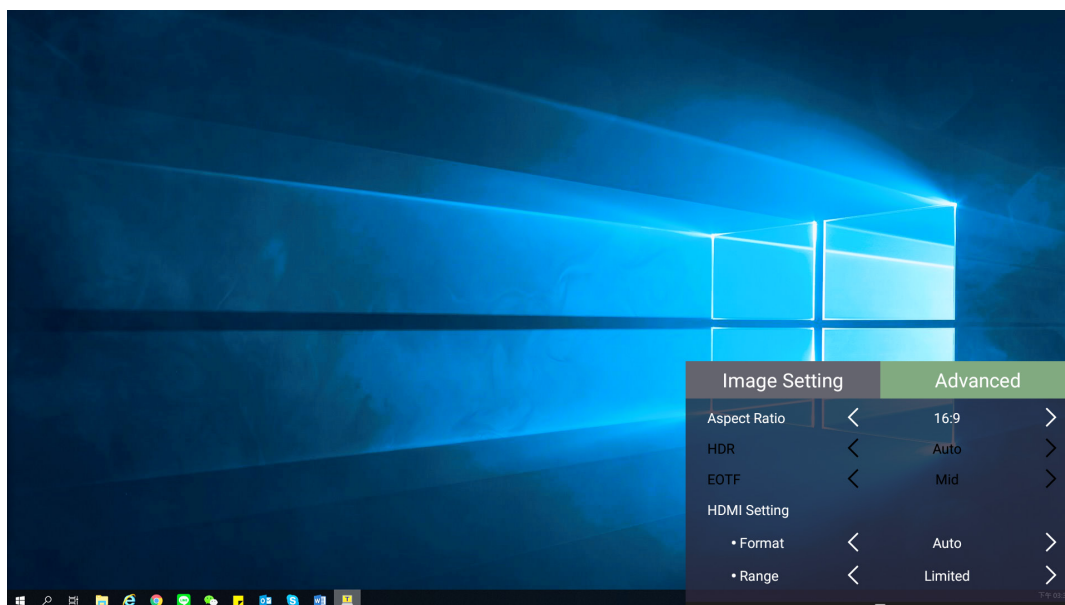
入力ソースを選択したら、Advanced (詳細) メニューを調整できます。

Advanced (詳細) メニューにアクセスするには：

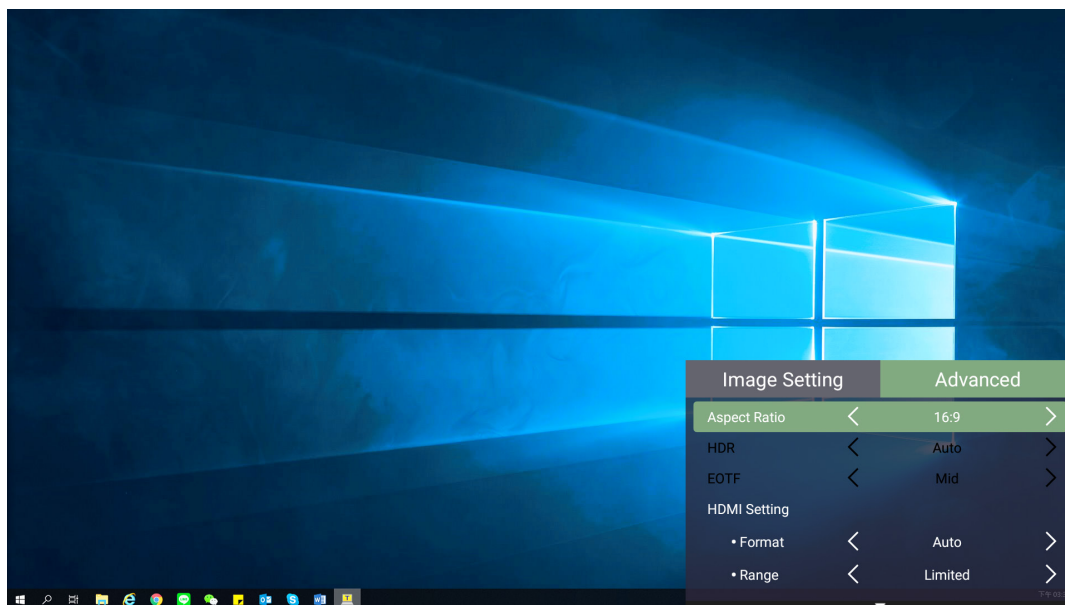
1. リモコンの**設定**を押します。



2. 右ボタンを押して、Advanced (詳細) メニューにアクセスします。



3. 上 / 下ボタンを使って、メニューを選択します。



4. 次に、左 / 右ボタンを使って、サブメニューに入る、および / または、設定を調整します。

5. 戻るボタンを押して、前のメニューに戻るか、終了します。

メニューオプション	詳細
Aspect Ratio (アスペクト比)	<p>アスペクト比は、画像の幅と画像の高さの比です。デジタル信号処理の出現により、このプロジェクターのようなデジタル表示装置は、画像入力信号とは異なるアスペクトに画像出力を動的に伸縮させることができます。</p> <p>注意事項： HDMI/USB C 信号入力にのみ対応しています。</p> <p>Auto (自動) プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3 でも 16:9 でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用したい場合です。</p> <p>4:3 4:3 のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準精細度テレビ、および 4:3 アスペクト比の DVD ムービーのような 4:3 画像に最適です。</p> <p>16:9 16:9 のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、高精細テレビのように、すでに 16:9 のアスペクト比の画像に最適です。</p>
HDMI Settings (HDMI 設定)	<p>Range (範囲) 接続している出力機器の色域設定に応じて、適切な色域を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Full (フル) : 色範囲を 0 ～ 255 に設定します。 • Limited (限定) : 色範囲を 15 ～ 235 に設定します。 • Auto (自動) : 入力信号の範囲を自動的に検出するようにプロジェクターを設定します。

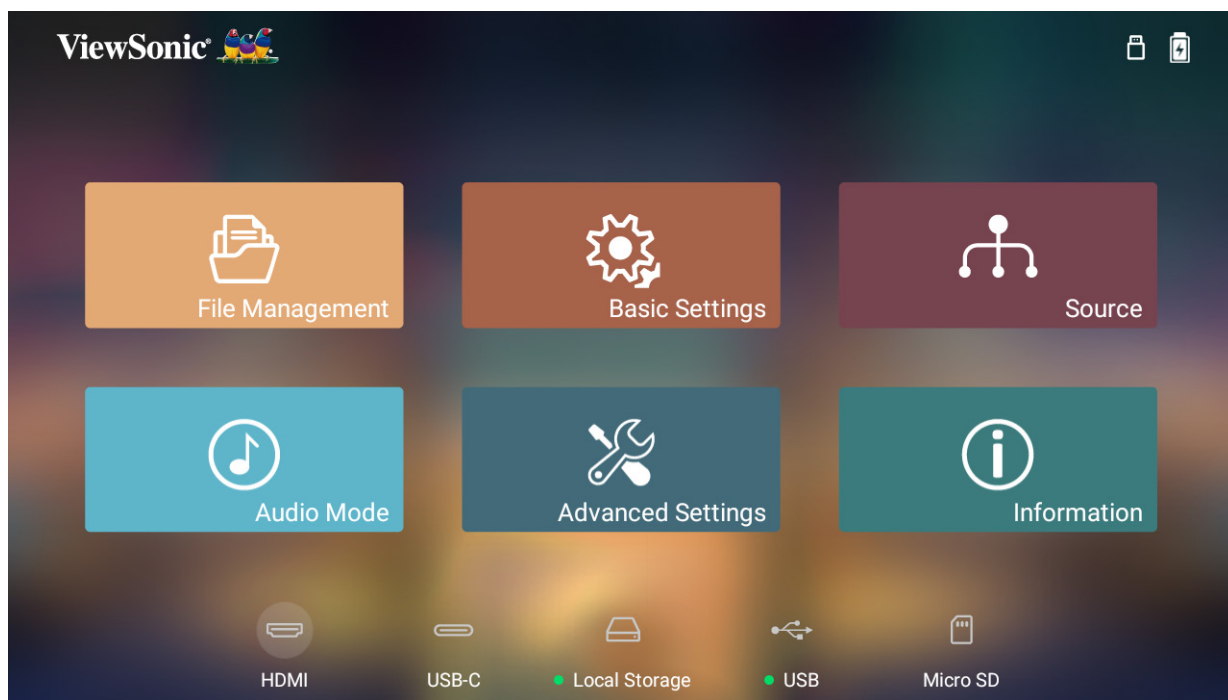
メニューオプション	詳細										
3D Settings (3D 設定)	<p>画像の奥行きを表現することで、3D メガネをかけながら、よりリアルな方法で 3D 映画、ビデオ、スポーツイベントを楽しむことができます。</p> <p>3D Sync (3D 同期) Automatic (自動)、Off (オフ)、Frame Sequential (フレームシーケンシャル)、Frame Packing (フレームパッキング)、Top-Bottom (トップ・ボトム)、Side-by-Side (サイド・バイ・サイド) から 調整および選択します。</p> <p>3D Sync Invert (3D 同期反転) 3D 画像の奥行きが反転している場合は補正できます。</p>										
harman/kardon (ハーマン / カードン)	音声設定を調整します。										
Light Source Level (光源レベル)	<p>LED の適切な消費電力を選択します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>モード</th><th>節約モード</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Full (フル)</td><td>100%</td></tr> <tr> <td>Eco (エコ)</td><td>70%</td></tr> <tr> <td>Extended Eco (拡張エコ)</td><td>55%</td></tr> <tr> <td>Battery Saving (電池節約)</td><td>30%</td></tr> </tbody> </table>	モード	節約モード	Full (フル)	100%	Eco (エコ)	70%	Extended Eco (拡張エコ)	55%	Battery Saving (電池節約)	30%
モード	節約モード										
Full (フル)	100%										
Eco (エコ)	70%										
Extended Eco (拡張エコ)	55%										
Battery Saving (電池節約)	30%										
Information (インフォメーション)	入力ソース、解像度、3D 形式を表示します。										

> プロジェクターを操作する

本章では、Home Screen (ホーム画面) とそのメニューについて説明します。

Home Screen (ホーム画面)

プロジェクターを起動するたびに、Home Screen (ホーム画面) が表示されます。Home Screen (ホーム画面) に移動するために、リモコンの方向ボタンを使用します。どのページが表示されている場合でも、リモコンのホームボタンを押すことにより、いつでもメイン Home Screen (ホーム画面) に戻ることができます。



メニュー	詳細
File Management (ファイル管理)	ファイルおよびフォルダを管理するためのユーザーインターフェイスを提供します。
Basic Settings (基本設定)	言語、プロジェクターの投影、キーストーン設定を管理します。
Source (ソース)	優先する入力ソースを選択します。
Audio Mode (オーディオモード)	プロジェクターのオーディオ再生を設定します。
Advanced Settings (詳細設定)	電源、オーディオ、その他の詳細設定を管理します。
Information (情報)	使用時間、システムのバージョン、その他の情報を表示します。

Home Screen (ホーム画面) - オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューツリー

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
File Management (ファイル管理)			
Basic Settings (基本設定)	Language (言語選択)	English	
		French	
		German	
		Italian	
		Spanish	
		Russian	
		繁體中文	
		簡體中文	
		日本語	
		韓語	
		Swedish	
		Dutch	
		Turkish	
		Czech	
		Portuguese	
		Thai	
		Polish	
		Finnish	
		Arabic	
		Indonesian	
		Hindi	
		Vietnam	
		Greek	
	Projector Projection (プロジェクタ 投影)	Front Table (前面机上)	
		Front Ceiling (前面天井)	
		Rear Table (背面机上)	
		Rear Ceiling (背面天井)	
	Keystone (キーストーン)	Manual (手動)	(-/+, -40~40)
		Auto V Keystone (自動垂直キーストーン)	Disable (オフ)
			Enable (オン)

メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Source			
Audio Mode			
Advanced Settings (詳細設定)	Power On Source (電源 オンソース)	Home (ホーム)	
		HDMI	
		USB-C	
	Power On/Off Ring Tone (電源オン/オフの呼び 出し音)	Off (オフ)	
		On (オン)	
	Smart Energy (スマートエネルギー)	Auto Power Off (自動電源オフ)	Disable (オフ)
			10 minutes (10 分)
			20 minutes (20 分)
			30 minutes (30 分)
		Sleep Timer (スリープ タイマー)	Disable (オフ)
			30 minutes (30 分)
			1 hour (1 時間)
			2 hours (2時間)
			3 hours (3時間)
			4 hours (4時間)
			8 hours (8時間)
			12 hours (12時間)
		Power Saving (省エネ)	Enable (オン)
			Disable (オフ)
	harman/kardon (ハーマン/ カードン)	Audio Mode (オーディオ モード)	Movie (映画)
			Music (音楽)
			User (ユーザー)
		Audio Volume (音量)	(-/+, 0~20)
		Mute (ミュート)	Off (オフ)
			On (オン)
	Light Source Level (光源レベル)	Full (フル)	
		Eco (エコ)	
		Extended Eco (拡張エコ)	
		Battery Saving (電池節約)	

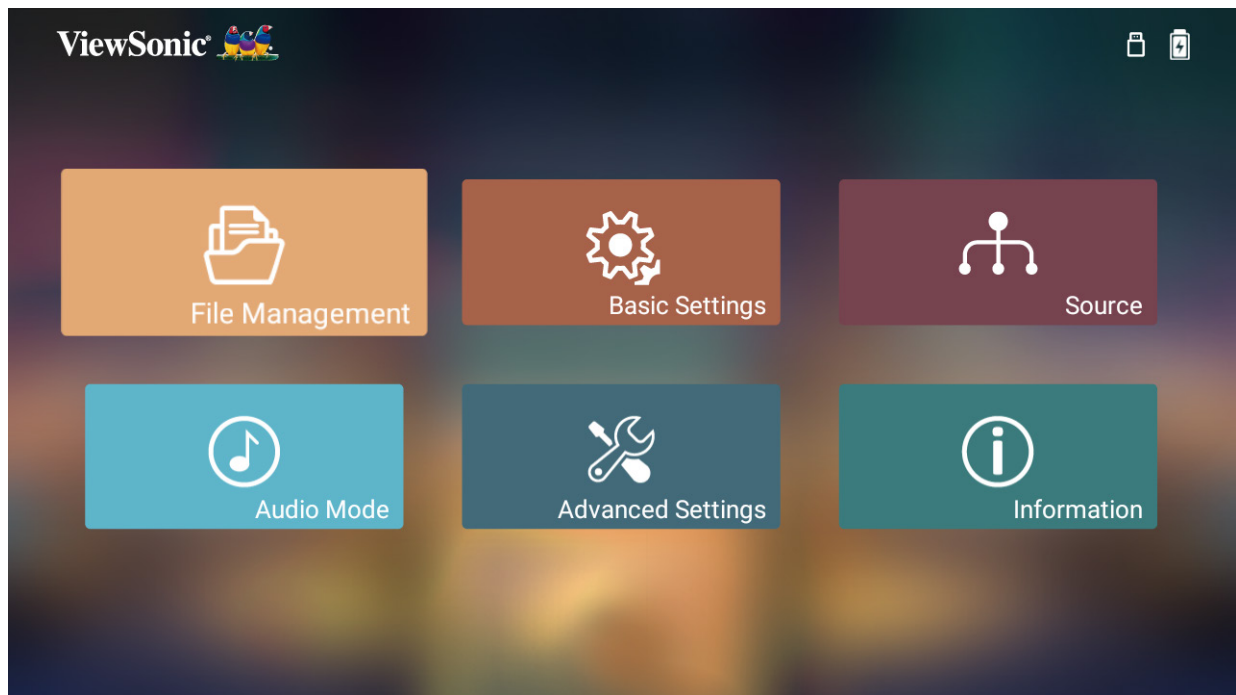
メインメニュー	サブメニュー	メニューオプション	
Advanced Settings (詳細設定)	High Altitude Mode (高地モード)	Off (オフ)	
		On (オン)	
	Reset Settings (設定をリセット)	Yes (はい)	
		Cancel (キャンセル)	
	Reset to Factory Default (工場出荷時デフォルト にリセット)	Yes (はい)	
		Cancel (キャンセル)	
Information (インフォメーション)	Light Source Hours (光源時間)		
	System Version (システムバージョン)		
	Memory Information (メモリ情報)	XX GB of XX GB Used (XX GB/XX GBを使用 中)	
	Serial Number (シリアル番号)		

メニュー操作

File Management (ファイル管理)

ファイルとフォルダを簡単に管理します。

1. 以下を選択します: **Home (ホーム) > File Management (ファイル管理)**。



2. ソースリストからデバイスを選択します。方向ボタンを使って、希望のファイルを選択します。次に、リモコンの **OK** を押して、選択したファイルを開きます。

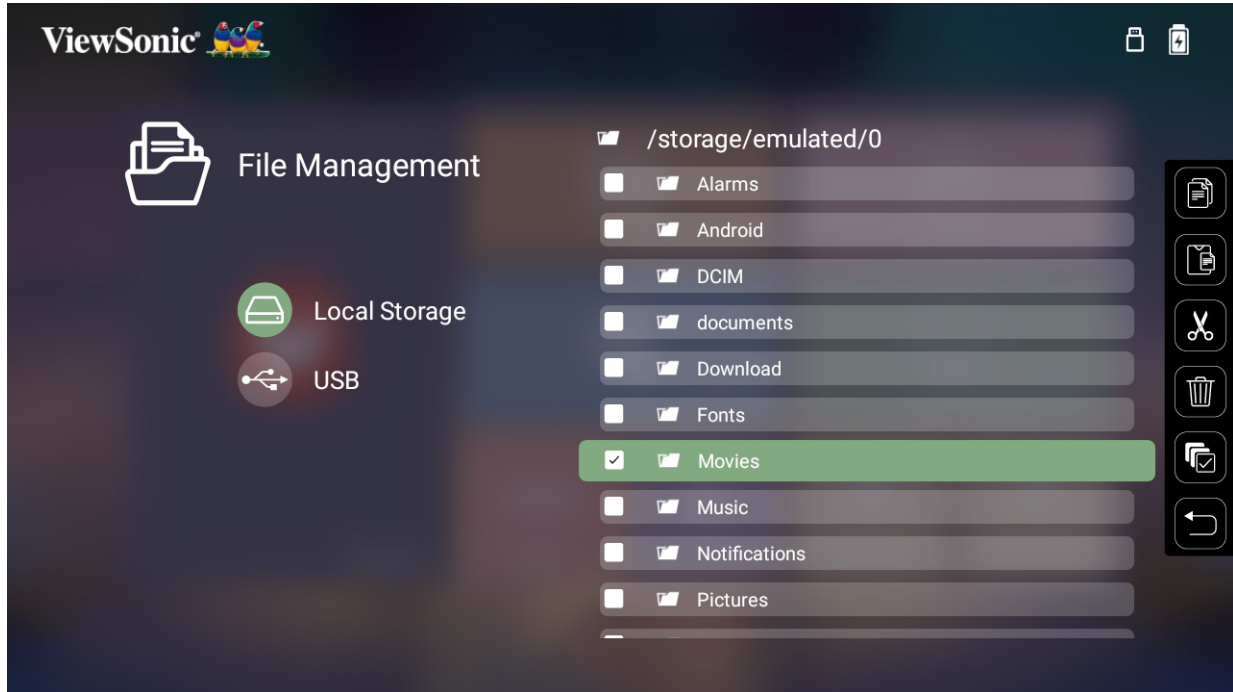


3. **戻る** ボタンを押して、前のレベルに移動します。

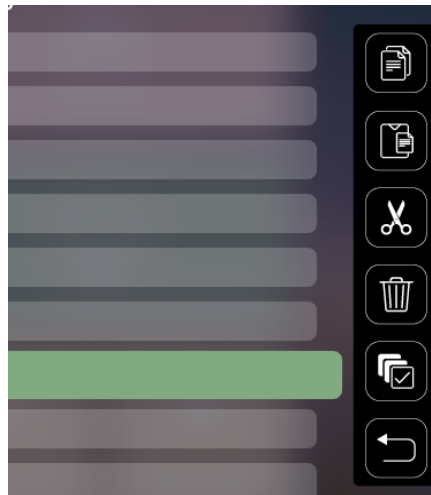
注意事項: リモコンの**ホーム**ボタンを押して、いつでも **Home Screen (ホーム画面)** に戻ることができます。

ファイルを編集する方法

1. **File Management (ファイル管理)** が表示されている間に、**OK** ボタンを 3 秒間長押しします。
2. 各ファイルの前にチェックボックスが表示されます。方向ボタンを使って、**OK** を押し、1 つ以上のファイルを選択します。



3. **右** ボタンを押すと、Copy (コピー)、Paste (貼り付け)、Cut (切り取り)、Delete (削除)、Select All (すべて選択)、Return (戻る) が使用可能です。



4. 目的の操作を選択し、**OK** を押して、実行します。
5. コピーまたは切り取りを実行している場合は、宛先フォルダを選択して、プロセスを完了させてください。

メディアコントロールバーのボタンの使用方法

開くビデオ、音楽、または写真ファイルが選択されている場合、メディアコントロールバーのボタンがスクリーンに表示されます。

ピクチャ		ビデオ		音楽	
	戻る		戻る		戻る
	再生		巻戻し		再生
	次へ		再生		一時停止
	ズームイン		一時停止		次へ
	ズームアウト		早送り		シャッフル
	回転(左)		次へ		すべて繰り返し
	回転(右)				1 つを繰り返し
					再生リスト
					インフォメーション

注意事項:

USB 使用に関するヒント

読み取りおよび / または保存に USB を使用する場合は、次の点に注意してください。

1. USB ストレージデバイスによっては互換性がない場合があります。
2. USB 延長ケーブルを使用すると、USB デバイスが USB を認識しない場合があります。
3. Windows FAT32 ファイルシステムでフォーマットされた USB ストレージデバイスのみを使用してください。
4. 大きいファイルは、読み込みに時間がかかります。
5. USB ストレージデバイス上のデータが破損または消失する可能性があります。重要なファイルをバックアップしてください。

サポートされるファイル形式

マルチメディア形式

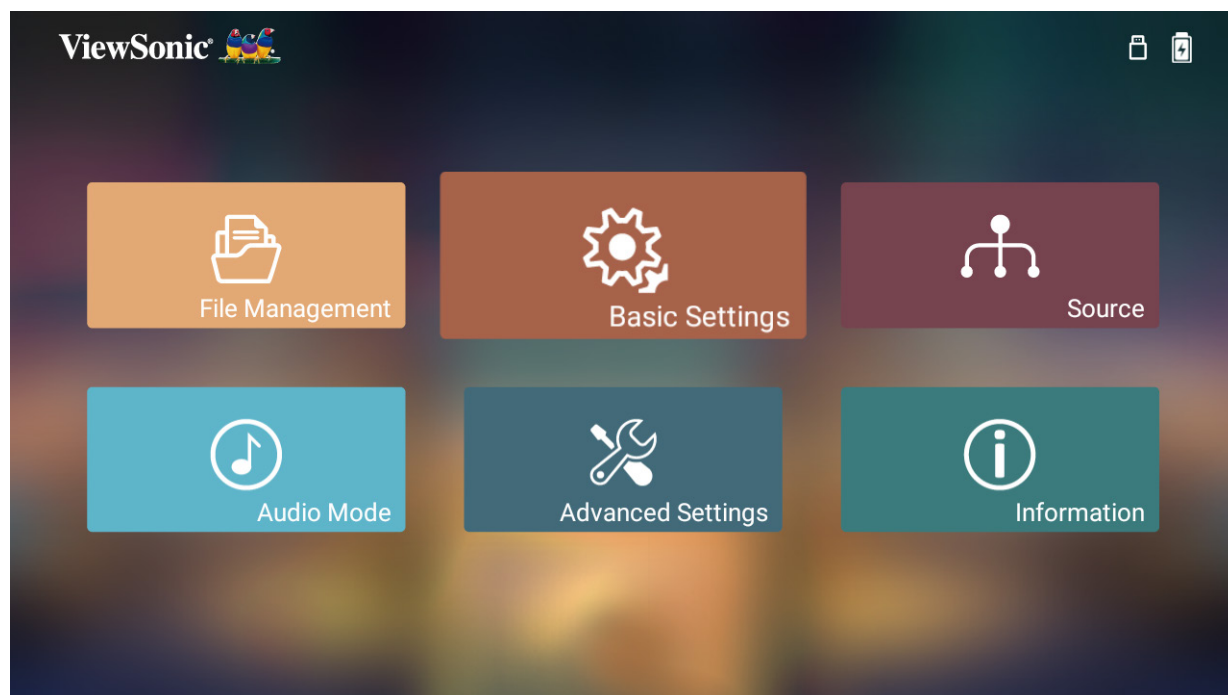
拡張子	タイプ	コーデック
.xvid	ビデオ	Xvid, H.264
.avi	音声	MP3
.mp4 .m4v .mov	ビデオ	H.264/MPEG-4
	音声	AAC
.mkv	ビデオ	H.264
.ts .trp .tp .mts .m2ts	ビデオ	H.264、MPEG-2
	音声	MP3/AAC
.vob	ビデオ	MPEG-1、MPEG-2
	音声	DVD-LPCM
.mpg	ビデオ	MPEG-1

Office 形式

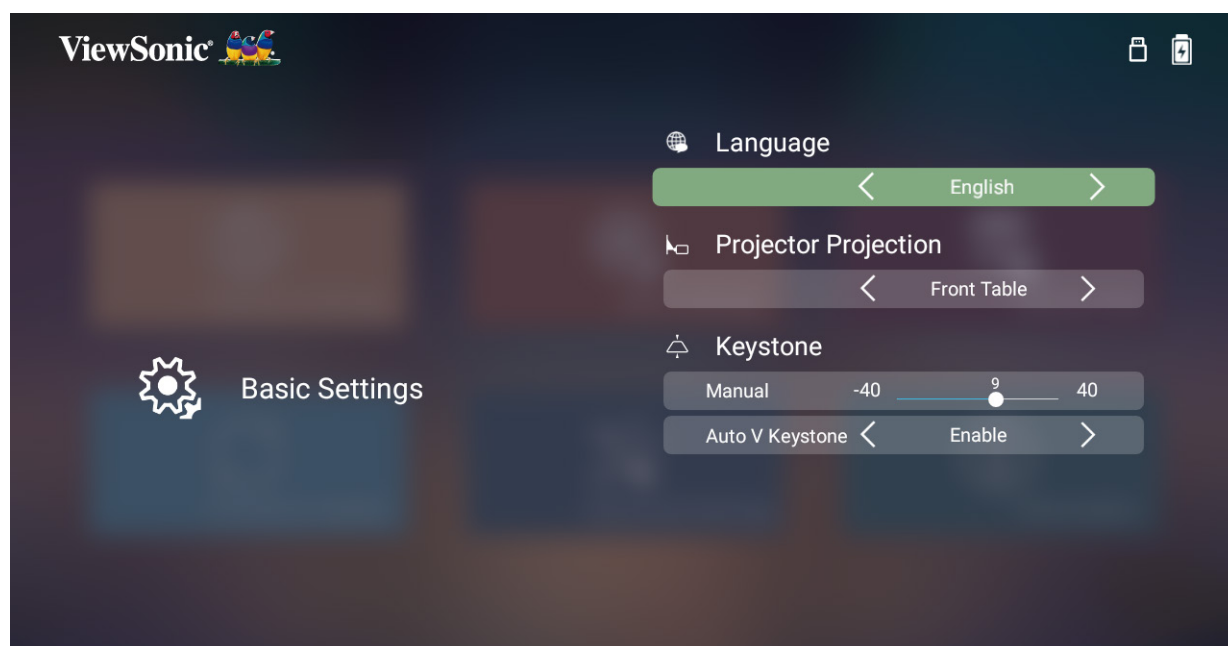
			項目	インジケータ
I.	文書閲覧機能	1	doc/docx	doc/docx の文書を開いて読むことができます
		2	xls/xlsx	xls/xlsx の文書を開いて読むことができます
		3	ppt/pptx	ppt/pptx の文書を開いて読むことができます
		4	Pdf	pdf の文書を開いて読むことができます
II.	サポートするインターフェイス言語	1	サポートするインターフェイス 44 言語	英語、簡体字中国語、中国語 (TW)、中国語 (HK)、スペイン語 (LA)、フランス語 (EU)、ポルトガル語 (EU)、ポルトガル語 (BR)、ドイツ語、ロシア語、イタリア語、スウェーデン語、スペイン語 (EU)、韓国語、アラビア語、ペルシア語、セルビア語、ボスニア語、マケドニア語、ブルガリア語、ウクライナ語、ギリシャ語、ノルウェー語、デンマーク語、チェコ語、ハンガリー語、スロバキア語、ポーランド語、ルーマニア語、フィンランド語、エストニア語、ラトビア語、リトアニア語、イギリス英語、スロベニア語、クロアチア語、トルコ語、ベトナム語、インドネシア語、オランダ語、マレー語、タイ語、ヒンディー語、ヘブライ語、ビルマ語、カタロニア語。

Basic Settings (基本設定)

1. 以下を選択します: Home (ホーム) > Basic Settings (基本設定)。



2. 上および下ボタンを使って、希望のオプションを選択し、OK を押します。次に、左および右ボタンを使って、調整または変更を行います。

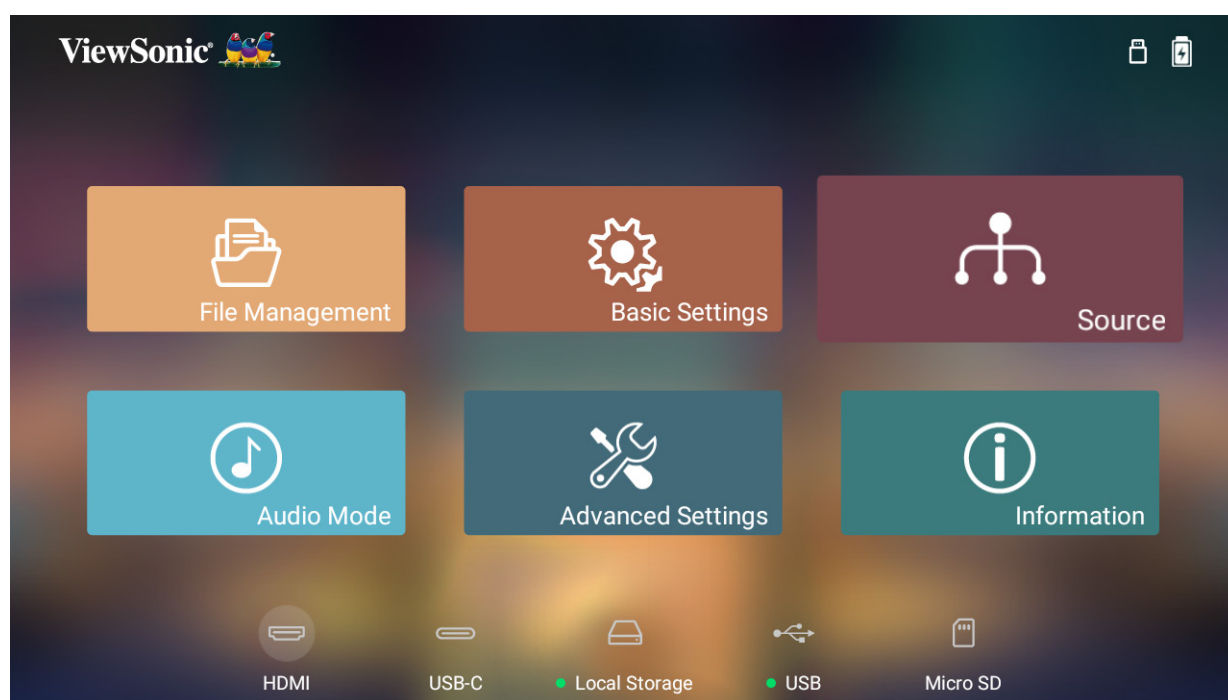
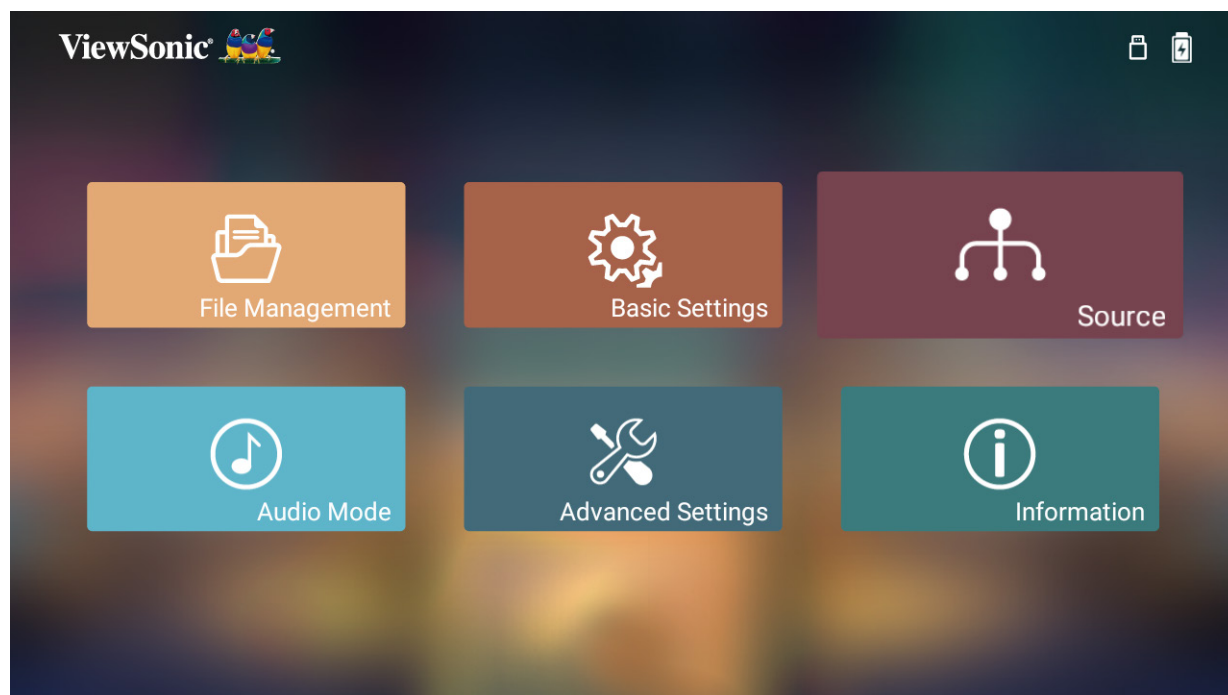


3. 前のメニューに戻るには、戻るボタンを押します。

メニュー	詳細
Language (言語選択)	希望の言語を選択します。
Projector Position (プロジェクターの位置)	好ましい投影位置を選択します。
Keystone (キーストーン)	<p>台形スクリーンの画像のゆがみを調整します。</p> <p>Manual (手動) キーストーンは、-40 から 40 の範囲で手動で調整できます。</p> <p>Auto V Keystone (自動垂直キーストーン) プロジェクターの傾きによって台形のスクリーン画像が表示されたときにキーストーン値を自動的に調整して、長方形のスクリーン画像を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Enable (オン): キーストーン値を自動的に調整します。 • Disable (オフ): キーストーン値を手動で調整します。 <p>注意事項: Manual (手動) が選択されている場合、Auto V Keystone (自動垂直キーストーン) は、自動的に Disable (オフ) に変わります。</p>

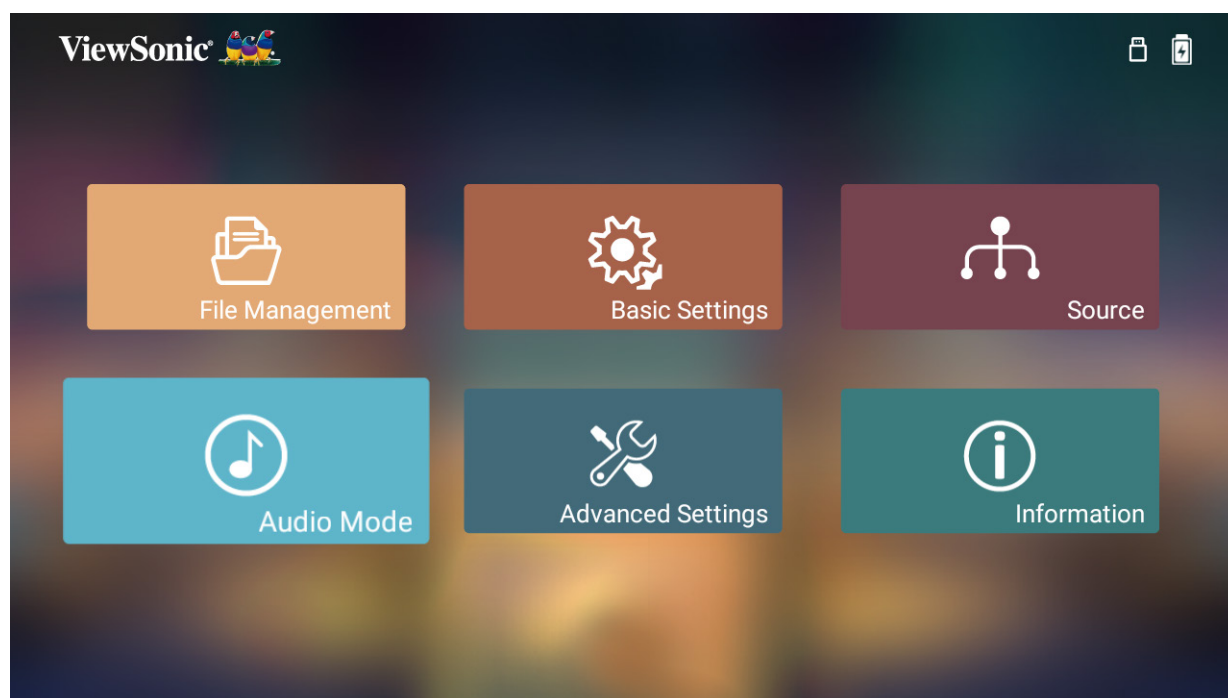
ソース

[ホーム]>[ソース]を選択して、利用可能なソースを表示します。

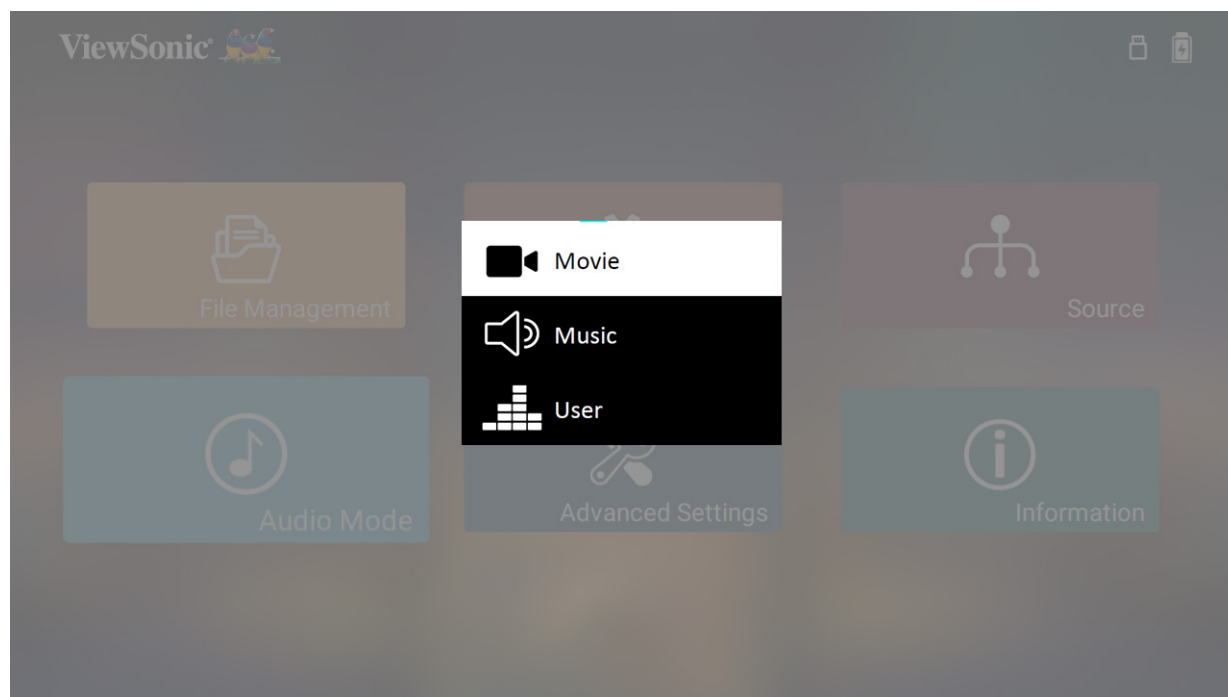


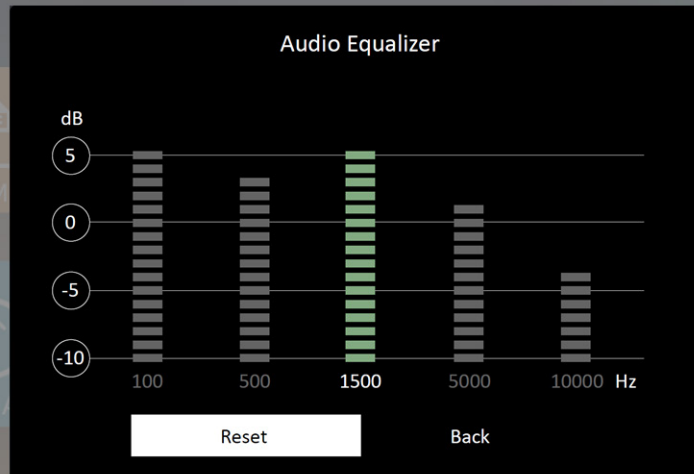
オーディオモード

1. [ホーム] > [オーディオモード] を選択します。



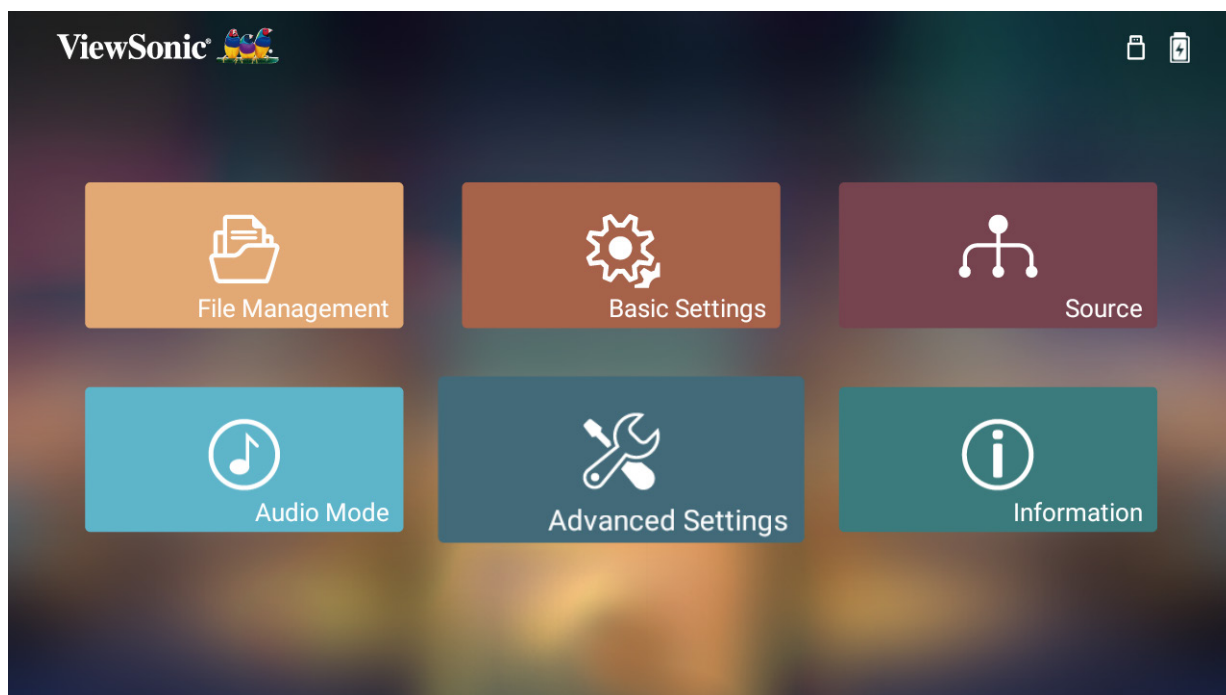
2. 優先するサウンド再生設定を [映画]、[音楽]、または [ユーザー] から選択します。



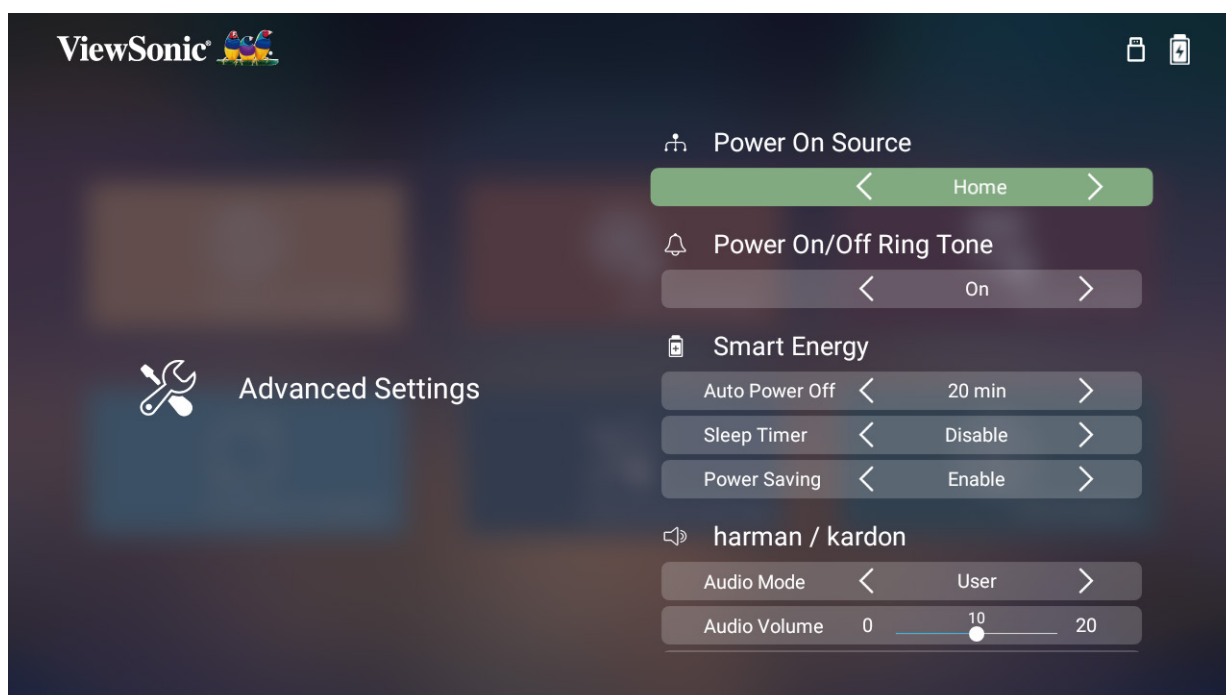


Advanced Settings (詳細設定)

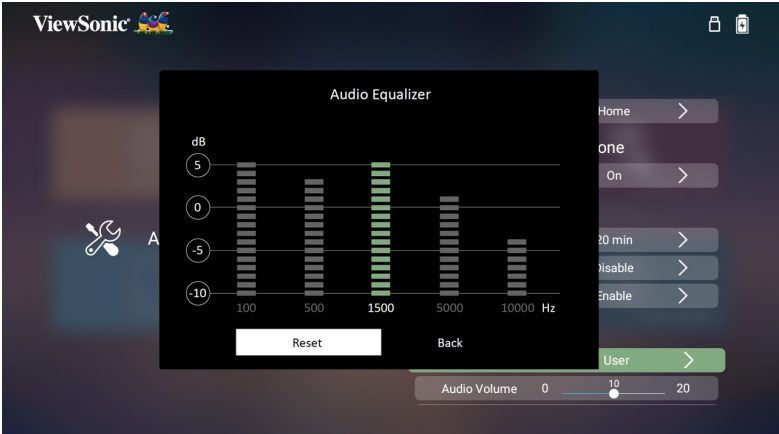
1. 以下を選択します: Home (ホーム) > Advanced Settings (詳細設定)。

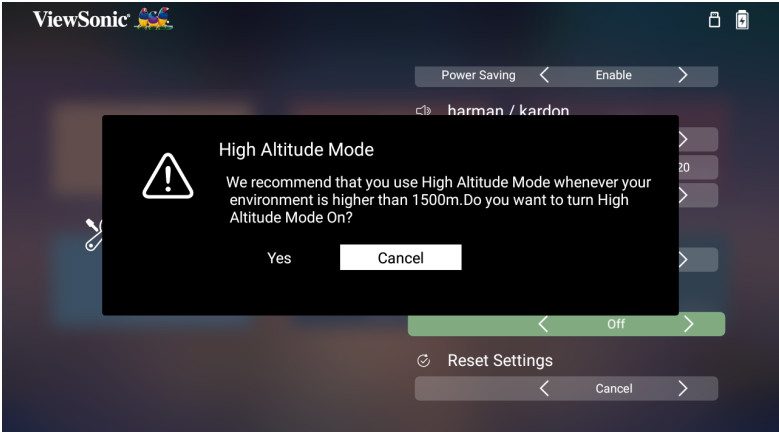


2. 上および下ボタンを使って、希望のオプションを選択し、OK を押します。次に、左および右ボタンを使って、調整または変更を行います。



3. 前のメニューに戻るには、戻るボタンを押します。

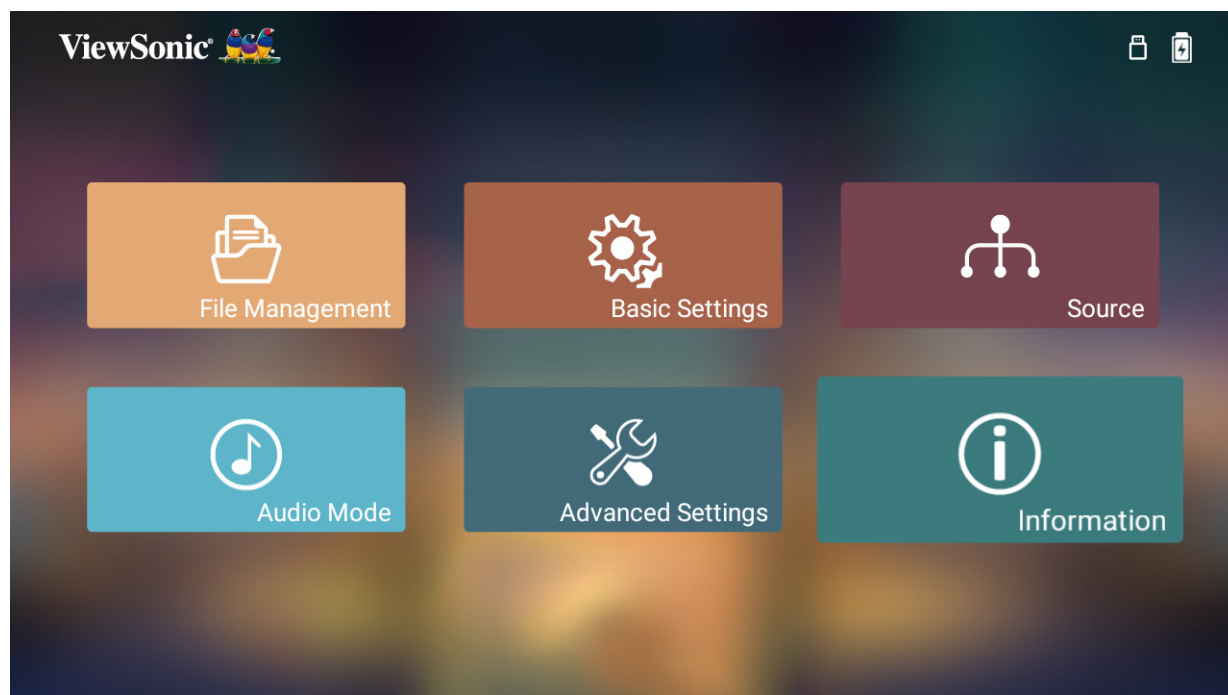
メニュー	詳細
Power On Source (電源オンソース)	プロジェクターの電源を入れた直後に、ユーザーが希望のソースを入力できるようにします。
Power On/Off Ring Tone (電源オン / オフの呼び出し音)	電源オン / オフの呼び出し音を有効または無効にします。
Smart Energy (スマートエネルギー)	<p>Auto Power Off (自動電源オフ) 入力ソースが検出されなくなると、設定した時間が経過するとプロジェクターは自動的にオフになります。</p> <p>Sleep Timer (スリープタイマー) 設定した時間が経過すると自動的にオフになります。</p> <p>Power Saving (省エネ) 5 分後に入力ソースが検出されない場合は、消費電力が少なくなります。</p> <p>注意事項: 信号が 5 分間検出されないとき、LED の消費電力は 30% に変更されます。</p>
harman kardon (ハーマン・カードン)	<p>Audio Mode (オーディオモード)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Movie (映画): デフォルトの音声モードです。 • Music (音楽): 音楽再生用に最適化されています。 • User (ユーザー): ユーザーがオーディオイコライザーをカスタマイズすることを許可します。 <p>注意事項: ユーザーモードでは、100Hz、500Hz、1500Hz、5000Hz、および 10000Hz を選択できます。</p>  <p>Audio Volume (音量) 音量を 0 から 20 に調整します。</p> <p>Mute (ミュート) 音量をミュートまたはミュート解除します。</p>

メニュー	詳細										
Light Source Level (光源レベル)	<p>LED の適切な消費電力を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="624 241 1414 672"> <thead> <tr> <th>モード</th><th>節約モード</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Full (フル)</td><td>100%</td></tr> <tr> <td>Eco (エコ)</td><td>70%</td></tr> <tr> <td>Extended Eco (拡張エコ)</td><td>55%</td></tr> <tr> <td>Battery Saving (電池節約)</td><td>30%</td></tr> </tbody> </table>	モード	節約モード	Full (フル)	100%	Eco (エコ)	70%	Extended Eco (拡張エコ)	55%	Battery Saving (電池節約)	30%
モード	節約モード										
Full (フル)	100%										
Eco (エコ)	70%										
Extended Eco (拡張エコ)	55%										
Battery Saving (電池節約)	30%										
High Altitude Mode (高地モード)	<p>環境が海拔 1,500 ～ 3,000 m、気温が 5℃ ～ 25℃ の場合は、高地モードを使用することをお勧めします。</p>  <p>注意事項： 上記以外の極端な条件下でこのプロジェクターを使用すると、プロジェクターが過熱から保護されるように設計された自動シャットダウンの症状が現れることがあります。このような場合は、これらの症状を解決するために高地モードに切り替える必要があります。ただし、これは、このプロジェクターがあらゆる過酷または極端な条件下でも動作できることを示すものではありません。</p>										
Reset Settings (設定をリセット)	<p>設定をデフォルトにリセットします。</p> <p>注意事項： 言語、高地モード、プロジェクターの位置、光源使用時間は変更されません。</p>										

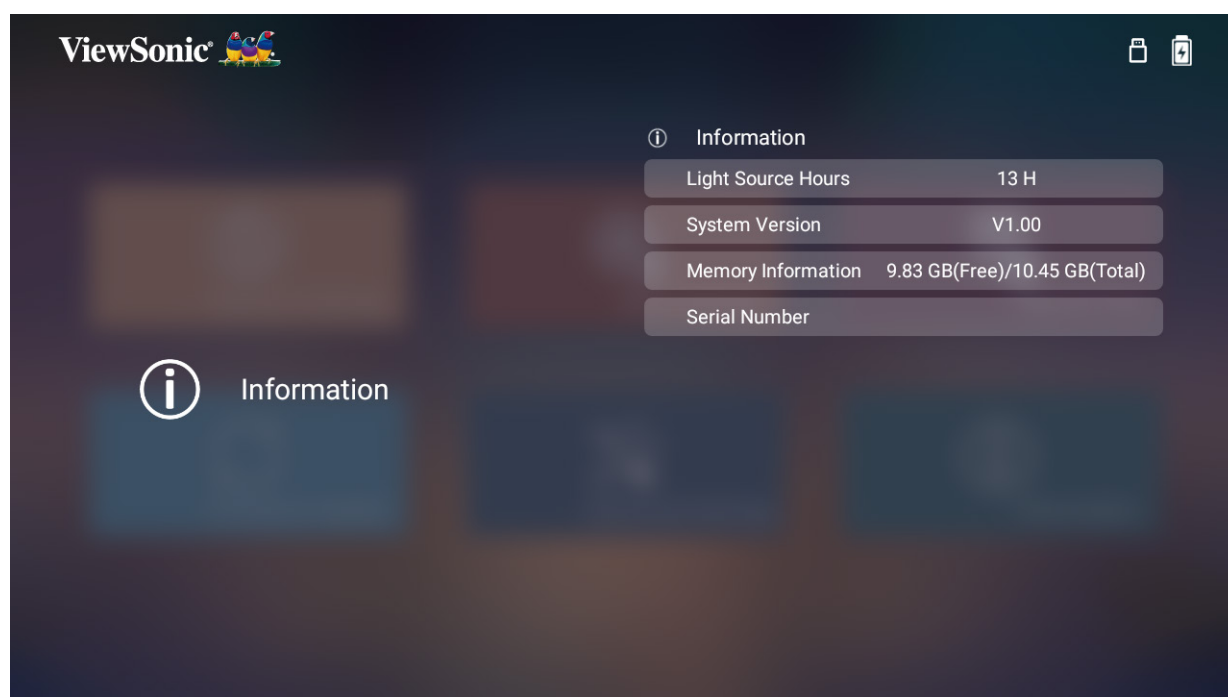
メニュー	詳細
Reset to Factory Default (工場出荷時デフォルト にリセット)	工場出荷時の設定にリセットします。 注意事項： 光源時間は変更されません。

Information (インフォメーション)

1. 以下を選択します: Home (ホーム) > Information (インフォメーション)。

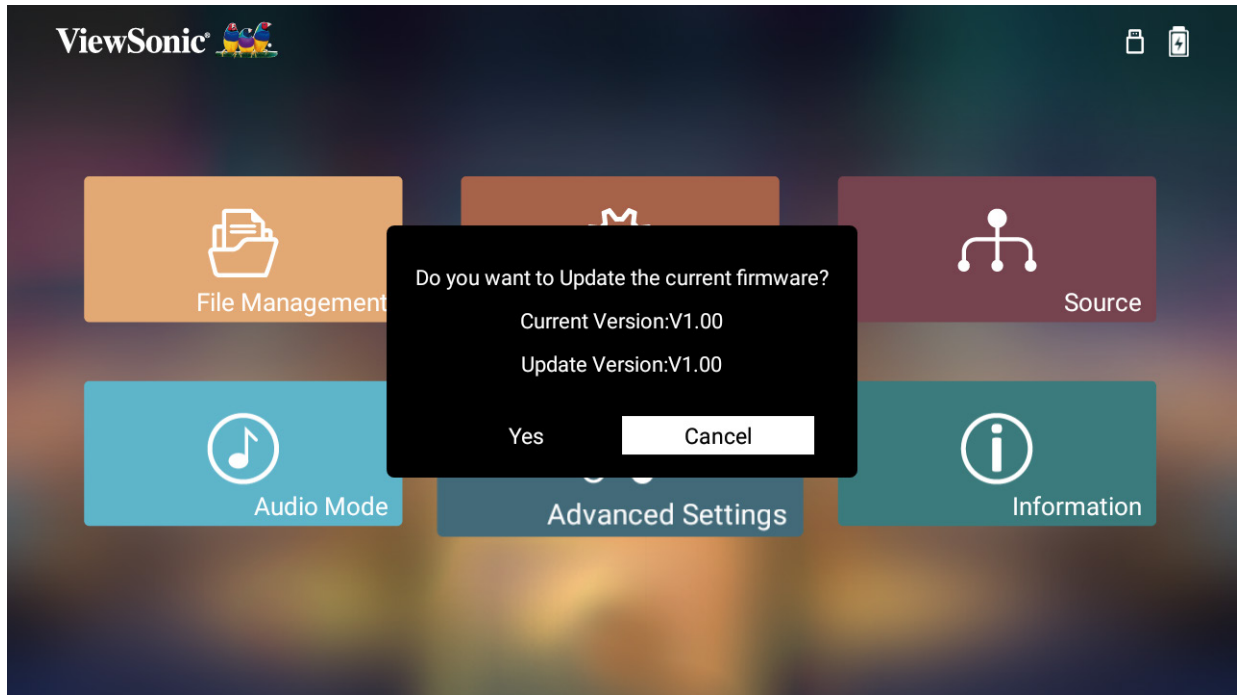


2. システムのステータスと情報を表示します。



注意事項: リモコンのホームボタンを押して、いつでも Home Screen (ホーム画面) に戻ることができます。

USB によるファームウェア更新



1. ViewSonic Web サイトから最新バージョンをダウンロードして、ファイルを USB デバイスにコピーします。
2. USB ストレージデバイスをプロジェクターに接続します。
3. システムはファームウェアのバージョンを検出し、上記のダイアログメッセージを表示します。
4. **Yes (はい)** を選択すると、更新プロセスの開始時に進行状況バーが表示されます。
5. 100% に達した後、プロジェクターは再起動します。全体のプロセスは約 10 分かかります。
6. ファームウェアの更新後、プロジェクターを再起動するために数分かかります。

注意事項： ファームウェアの更新をサポートできるのは USB A ポートのみです (USB 形式: FAT32)。

> 付録

仕様

項目	区分	仕様
プロジェクター	タイプ	0.2" WVGA、LED
	画面サイズ	24" ~ 100"
	投射距離	0.64-2.66 m (38" @ 1 m)
	レンズ	F = 1.7、f = 5.5 mm
	光学ズーム	固定
	光源タイプ	RGB LED
	光源寿命(通常)	最大 30,000 時間
	表示色	10 億 7000 万色
	キーストーン	-/+ 40 (垂直)
	バッテリー容量	12,000 mAh、3.7Vx3
入力信号	HDMI	f _h : 15K~102KHz、f _v : 23~120Hz、
解像度	標準	854 x 480
	サポート	VGA (640 x 480) からフル HD (1920 x 1080)
入力	HDMI	1 (HDMI 1.4、HDCP 1.4)
	USB タイプ A	1 (USB 2.0 Reader)
	USB タイプ C	1 (電源入力 - 5V/2A)
出力	スピーカー	8W キューブ× 2
	USB タイプ A (電源)	1 (USB 2.0、5V/1A、USB リーダーと共有)
	音声出力 (3.5 mm)	1
電源アダプタ	入力電圧	100-240VAC, 50/60 Hz (自動切替)
	出力電圧	DC 19V/3.42A
ローカルストレージ	合計: 16 GB	利用可能: 12 GB
動作環境	気温	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
	湿度	0% ~ 90% (非結露)
寸法	寸法 (W x H x D)	151 × 126 × 40 mm (5.94" x 4.96" x 1.57")
重量	寸法	0.7 kg (1.54 ポンド)
省電力モード	オン	45W (標準)
	オフ	< 0.5W (スタンバイ)

タイミングチャート

HDMI/USB-C ビデオのタイミング

タイミング	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	ドットクロック 周波数 (MHz)
480i	720 (1440) x 480	15.73	59.94	27
480p	720 x 480	31.47	59.94	27
576i	720 (1440) x 576	15.63	50	27
576p	720 x 576	31.25	50	27
720/50p	1280 x 720	37.5	50	74.25
720/60p	1280 x 720	45	60	74.25
1080/24P	1920 x 1080	27	24	74.25
1080/25P	1920 x 1080	28.13	25	74.25
1080/30P	1920 x 1080	33.75	30	74.25
1080/50i	1920 x 1080	28.13	50	74.25
1080/60i	1920 x 1080	33.75	60	74.25
1080/50P	1920 x 1080	56.25	50	148.5
1080/60P	1920 x 1080	67.5	60	148.5

HDMI/USB C ビデオのタイミング

解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平周波数 (KHz)	ドットクロック 周波数 (MHz)
640 x 480	59.94	31.469	25.175
	72.809	37.861	31.5
	75	37.5	31.5
720 x 400	70.087	31.469	28.3221
800 x 600	56.250	35.156	36
	60.317	37.879	40
	72.188	48.077	50
	75	46.875	49.5
1024 x 768	60.004	48.363	65
	70.069	56.476	75
	75.029	60.023	78.75
1152 x 864	75	67.5	108
1280 x 768	59.87	47.776	79.5
	74.893	60.289	102.25
1280 x 800	59.81	49.702	83.5
	74.934	62.795	106.5
1280 x 960	60	60	108
1280 x 1024	60.02	63.981	108
	75.025	79.976	135
1360 x 768	60.015	47.712	85.5
1400 x 1050	59.978	65.317	121.75
1440 x 900	59.887	55.935	106.5
	60	55.469	88.75
	74.984	70.635	136.75
1600 x 1200	60	75	162
1680 x 1050	59.883	64.674	119.000
	59.954	65.29	146.25

3D サポートタイミング

HDMI 3D (情報フレーム付きのブルーレイ3D)				
信号	解像度(ドット)	アスペクト比	リフレッシュレート (Hz)	サポート
Frame Packing (フレームパッキング)				
1080p	1920 x 1080	16:9	23.98/24	はい
720p	1280 x 720	16:9	50/59.94/60	はい
サイド・バイ・サイド				
1080i	1920 x 1080	16:9	50/59.94/60	はい
トップ・アンド・ボトム				
1080p	1920 x 1080	16:9	23.98/24	はい
720p	1280 x 720	16:9	50/59.94/60	はい

3D (HDMI/USB C) 手動設定				
信号	解像度(ドット)	アスペクト比	リフレッシュレート (Hz)	サポート
SVGA	800 x 600	4:3	60*/120**	はい
XGA	1024 x 768	4:3	60*/120**	はい
HD	1280 x 720	16:9	60*/120**	はい
WXGA	1280 x 800	16:9	60*/120**	はい
HDTV (1080p)	1920 x 1080	16:9	60	はい
注意事項: * 60Hz 信号は、サイド・バイ・サイド、トップ・アンド・ボトム、フレームシーケンシャルでサポートされています。 ** 120Hz 信号はフレームシーケンシャルでのみサポートされます。				

LED インジケーター

ライト	詳細
緑	電源オン
赤	スタンバイモード
白色に点滅	プロジェクターの充電中
白色に点灯	バッテリーは完全に充電されています

トラブルシューティング

本章では、プロジェクターを使用するにあたり、発生する可能性がある問題と対処方法を記載します。

問題	解決策
プロジェクターの電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">電源コードがプロジェクターとコンセントに正しく接続されていることを確認してください。冷却プロセスが完了していない場合は、終了するまで待ってからもう一度プロジェクターの電源を入れてください。上記の方法でうまくいかない場合は、別のコンセントまたは同じコンセントで別の電気機器を試してください。バッテリー残量が¹であることを確認するか、電源アダプタを接続します。プロジェクターのバッテリーが低下すると、自動的に電源がオフになったりオンになったりすることがあります。プロジェクターのスイッチを切り、少なくとも 30 分間バッテリーを充電してください。
画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none">ビデオソースケーブルが正しく接続され、ビデオソースがオンになっていることを確認してください。入力ソースが自動的に選択されていない場合は、プロジェクターまたはリモコンの Source (ソース) キーで正しいソースを選択してください。
画像がぼやけている	<ul style="list-style-type: none">フォーカスリングを調整して、投影レンズの焦点を正しく合わせてください。プロジェクターとスクリーンが正しく整列していることを確認してください。必要に応じて、プロジェクターの高さ、および投影角度と方向を調整してください。
リモコンが機能しない	<ul style="list-style-type: none">リモコンとプロジェクターの間に障害物がなく、それらが互いの 8 m (26 フィート) 以内にあることを確認してください。電池が切れている可能性があります。確認して、必要に応じて交換してください。

1 デバイスを長期間使用していない場合、最初にバッテリーを 4.5 時間充電する必要がある場合があります。

問題	解決策
プロジェクター / システムはフリーズしており、応答しません	<ul style="list-style-type: none"> • デバイスをリセットするには、電源スイッチのオン / オフを切り替えてください。

メンテナンス

お手入れの際の注意

- プロジェクターのお手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
- プロジェクターから部品を取り外さないでください。プロジェクターの部品を交換する必要がある場合は、ViewSonic® または販売店にお問い合わせください。
- 絶対にケースに直接液体をスプレーしたり、かけたりしないでください。
- プロジェクターは十分注意してお取扱いください。傷がついた場合、跡が残る可能性があります。

レンズを清掃する

- ほこりを取り除くために圧縮空気のキャニスターを使用してください。
- それでもレンズが汚れている場合は、レンズクリーニングペーパーを使用するか、レンズクリーナーで柔らかい布を湿らせて、表面をやさしく拭いてください。

注意： レンズを研磨剤でこすらないでください。

ケースのお手入れ

- 柔らかい、糸くずの出ない乾いた布で汚れやほこりを取り除いてください。
- 落ちにくい汚れの場合は、ノンアンモニア、ノンアルコールの洗剤を少量ケースにつけ、清潔で柔らかい不織布で拭いてください。

注意： ワックス、アルコール、ベンゼン、シンナー、その他の化学洗剤を絶対に使用しないでください。

プロジェクターを保管する

プロジェクターを長期間保管する場合は、次の手順を実行してください。

- 保管場所の温度と湿度が推奨範囲内であることを確認してください。
- アジャスターフットを完全に引き込みます。
- リモコンから電池を取り出します。
- プロジェクターを、元の梱包材または同等の梱包材で梱包してください。

免責事項

- ViewSonic® は、レンズまたはケースにアンモニアまたはアルコールベースのクリーナーを使用することはお勧めしません。いくつかの化学洗浄剤は、プロジェクターのレンズおよび / またはケースを損傷することが報告されています。
- ViewSonic® は、アンモニアやアルコールベースの洗剤の使用に起因する損傷の一切の責任を負いません。

> 規制およびサービス情報

コンプライアンス情報

本セクションでは、関連するすべての要件と規制に関する声明を扱います。確認された対応用途は、本体上の銘板ラベルおよび関連マーキングを参照してください。

FCC コンプライアンス声明

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に従うものとします：(1) 本装置は有害な干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。本装置は、FCC 規則パート 15 に従って試験され、クラス B デジタル装置の制限に準拠していることが判明しています。

これらの制限は、住宅における設置で有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用しており、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合（装置の電源を入れ直して判断できます）、次のいずれかの方法で干渉を是正するようにしてください。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変えてください。
- 本装置と受信機の間隔を広げてください。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに本装置を接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ / テレビ技術者に相談してください。

本送信機で使用するアンテナは、他のアンテナや送信機と同じ場所に設置したり、一緒に使用したりしないでください。

本装置はテスト済みであり、FCC CFR Title 47 Part 15 Subpart C で指定されている測定基準と手順に準拠しています。

警告：コンプライアンス担当者が明示的に承認していない変更または修正を行うと、本装置の操作権限が失われる可能性があることに注意してください。

FCC 放射線被ばく声明

この装置は、管理されていない環境に対して定められた FCC 放射線被曝制限に準拠しています。エンドユーザーは、RF 暴露コンプライアンスを満たすために、特定の操作手順に従う必要があります。

本送信機は、他のアンテナや送信機と同じ場所に設置したり、一緒に動作させたりしてはなりません。本装置は、ラジエーターと身体の間に最低 20 cm の距離を置いて設置および操作する必要があります。

意図的または意図的ではないラジエーターのユーザーマニュアルまたは取扱説明書は、コンプライアンスの責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、ユーザーの機器を操作する権限が無効になる可能性があることをユーザーに警告するものとします。

IC 警告に関する声明

本装置は、カナダ産業省の免税 RSS 規格に準拠しています。操作は次の 2 つの条件に従うものとします：(1) 本装置は干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、装置の望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

国コードに関する声明

米国 / カナダ市場で入手可能な製品の場合、チャンネル 1 から 11 のみを操作できます。他のチャンネルの選択はできません。

Pour les produits disponibles aux États-Unis/Canada du marché, seul le canal 1 à 11 peuvent être exploités. Sélection d'autres canaux n'est pas possible.

IC 放射線被ばくに関する声明

本装置は、管理されていない環境に対して定められた IC RSS-102 放射線被曝制限に準拠しています。本装置は、ラジエーターと身体の上に最低 20cm の距離を置いて設置および操作する必要があります。5150 ~ 5825 MHz 帯域の装置は、屋内での使用のみを目的としており、同一チャネルのモバイル衛星システムへの有害な干渉の可能性を低減します。

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements IC établies pour un environnement non contrôlé. Cet équipement doit être installé et utilisé avec un minimum de 20cm de distance entre la source de rayonnement et votre corps. les dispositifs fonctionnant dans la bande 5150-5825 MHz sont réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux.

欧州諸国の CE 適合

CE 本装置は、EMC 指令 2014/30/EU および低電圧指令 2014/35/EU に準拠しています。

次の情報は、EU 加盟国のみに適用されます：

右側のマークは、廃電気電子機器指令 2012/19/EU (WEEE) に準拠しています。このマークは、本装置を未分類の地方自治体の廃棄物として処分せず、現地の法律に従って回収および回収システムを使用する必要があります。



RoHS2 コンプライアンス宣言

本製品は、欧州議会および理事会指令 2011/65/EU (電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する指令 (RoHS2 指令)) に準拠して設計・製造されており、欧州技術適合委員会 (TAC) が発行する以下の最大濃度値に適合しているとみなされます：

物質	提案された最大濃度	実際の濃度
鉛 (Pb)	0.1%	< 0.1%
水銀 (Hg)	0.1%	< 0.1%
カドミウム (Cd)	0.01%	< 0.01%
26/5000 六価クロム (Cr6+)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ビフェニル (PBB)	0.1%	< 0.1%
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ビス (2- エチルヘキシル) (DEHP)	0.1%	< 0.1%
Benzyl butyl phthalate (BBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジブチル (DBP)	0.1%	< 0.1%
フタル酸ジイソブチル (DIBP)	0.1%	< 0.1%

上記のような製品の特定のコンポーネントは、下記の RoHS2 指令の附属書 III の下で免除されています。免除されているコンポーネントの例を以下に挙げます：

- 以下を超えない特殊用途用冷陰極蛍光灯および外部電極蛍光灯 (CCFL および EEFL) の水銀 (ランプあたり) :
 - » 短いランプ (500mm) : ランプあたり最大 3.5 mg。
 - » 中程度のランプ (500 mm ~ 1,500 mm) : ランプあたり最大 5 mg。
 - » 長いランプ (1,500 mm 以上) : ランプあたり最大 13 mg。
- 陰極線管のガラス中の鉛。
- 重量 0.2 % を超えない蛍光灯のガラス中の鉛。
- 重量 0.4 % までの鉛を含むアルミニウムの合金元素としての鉛。
- 鉛を重量 4 % まで含有する銅合金。
- 高融点温度はんだ中の鉛 (すなわち、鉛を重量 85 % 以上含む鉛ベースの合金)。
- コンデンサに誘電体セラミック以外のガラスまたはセラミックの鉛を含む電気および電子部品 (例えば、圧電素子、またはガラスまたはセラミックマトリックス化合物中)。

- **電池：**

- » 電池が使用、保管、または輸送中にさらされる可能性のある極端な高温または低温。高高度では気圧が低くなります。
- » 安全装置を無効にする可能性のある不適切なタイプの電池交換（たとえば、一部のリチウム電池タイプの場合）。
- » 電池を火または高温のオーブンに廃棄するか、電池を機械的に押しつぶして破裂させると爆発する恐れがあります。
- » 非常に高温の周囲環境に電池を放置すると、爆発または引火性の液体またはガスの漏れを引き起こす可能性があります。
- » 電池を極端に低い気圧に曝すと、爆発したり、可燃性の液体またはガスが漏れたりする可能性があります。

インドの有害物質規制

有害物質規制に関する声明（インド）。本製品は、「インド E 廃棄ルール 2011」に準拠しており、鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭素化ビフェニルまたはポリ臭素化ジフェニルエーテルに対する濃度が 0.1 重量 %、カドミウムに対する濃度が 0.01 重量 % を超えることが禁止されています。ただし、規則の附属書 2 に定められた免除を除きます。

製品ライフサイクル終了時の製品の廃棄

ViewSonic® は環境を尊重し、環境に配慮した緑化に取り組んでいます。よりスマートな、よりグリーンなコンピューティングに参加していただきありがとうございます。詳細については、ViewSonic® の Web サイトをご覧ください。

米国およびカナダ：

<http://www.viewsonic.com/company/green/recycle-program/>

欧州：

<http://www.viewsoniceurope.com/eu/support/call-desk/>

台湾：

<https://recycle.epa.gov.tw/>

著作権情報

Copyright© ViewSonic Corporation, 2020. All rights reserved. 版權所有。

Macintosh 及び Power Macintosh はアップル社 Apple Inc. の登録商標です。

Microsoft、Windows 及び Windows ロゴは米国及び他諸国のマイクロソフト社の登録商標です。

ViewSonic 及び 3 羽の鳥のロゴは ViewSonic 社の登録商標です。

VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。DPMS、DisplayPort 及び DDC は VESA の商標です。

ENERGY STAR® は米国環境保護庁 (EPA) の登録商標です。

ENERGY STAR® パートナーとして、ViewSonic® Corporation は本製品がエネルギー効率のための ENERGY STAR® ガイドラインに準拠することを決定しています。

免責条項: ViewSonic® Corporation は、本書における技術的または編集上の誤りについてその責を負いません。また、本資料の提供または本製品の動作或いは使用に起因する二次的または間接的損害についてもその責を負いません。

製品の継続的な品質向上のために、ViewSonic® Corporation は製品の仕様を予告なしに変更することができます。本文書の内容は予告なしに変更されることがあります。

本書のいかなる部分も、ViewSonic® Corporation から事前に書面による許可を得ることなく、いかなる方法によっても無断で複写、複製、転送することを禁じます。

カスタマーサポート

技術サポート、または製品サービスについては下記ウェブサイトをご覧ください。

注意事項： 製品のシリアル番号が必要です。

国/地域	ウェブサイト	国/地域	ウェブサイト
アジア太平洋およびアフリカ			
Australia	www.viewsonic.com/au/	Bangladesh	www.viewsonic.com/bd/
中国 (China)	www.viewsonic.com.cn	香港 (繁體中文)	www.viewsonic.com/hk/
Hong Kong (English)	www.viewsonic.com/hk-en/	India	www.viewsonic.com/in/
Indonesia	www.viewsonic.com/id/	Israel	www.viewsonic.com/il/
日本 (Japan)	www.viewsonic.com/jp/	Korea	www.viewsonic.com/kr/
Malaysia	www.viewsonic.com/my/	Middle East	www.viewsonic.com/me/
Myanmar	www.viewsonic.com/mm/	Nepal	www.viewsonic.com/np/
New Zealand	www.viewsonic.com/nz/	Pakistan	www.viewsonic.com/pk/
Philippines	www.viewsonic.com/ph/	Singapore	www.viewsonic.com/sg/
臺灣 (Taiwan)	www.viewsonic.com/tw/	ประเทศไทย	www.viewsonic.com/th/
Việt Nam	www.viewsonic.com/vn/	South Africa & Mauritius	www.viewsonic.com/za/
アメリカ			
United States	www.viewsonic.com/us	Canada	www.viewsonic.com/us
Latin America	www.viewsonic.com/la		
欧州			
Europe	www.viewsonic.com/eu/	France	www.viewsonic.com/fr/
Deutschland	www.viewsonic.com/de/	Қазақстан	www.viewsonic.com/kz/
Россия	www.viewsonic.com/ru/	España	www.viewsonic.com/es/
Türkiye	www.viewsonic.com/tr/	Україна	www.viewsonic.com/ua/
United Kingdom	www.viewsonic.com/uk/		

限定保証

ViewSonic® プロジェクター

保証内容：

ViewSonic® は、保証期間中、通常の使用の下で、製品に材料や製造上の欠陥がないことを保証します。保証期間中に製品の材料または製造上の欠陥が判明した場合、ViewSonic® は、唯一の救済策として、修理または類似の製品に交換します。交換用の製品または部品には、再生または改装された部品またはコンポーネントが含まれる場合があります。

通常使用の場合の 3 年間限定保証：

南北アメリカでは、下記の 1 年間の限定保証が適用されます。ランプを除くすべての部品の保証期間は 3 年間、工作に対する保証期間は 3 年間、元のランプの保証期間は 1 年間です（最初の消費者の購入日を基準とします）。

その他の地域または国：保証情報については、最寄りの販売店または最寄りの ViewSonic® オフィスに確認してください。

多用される場合の 1 年間限定保証：

南北アメリカにおいて、プロジェクターの使用が 1 日の平均使用時間が 14 時間を超えるような、過酷な使用環境では、ランプを除くすべての部品の保証期間は 1 年間、工作に対する保証期間は 1 年間、元のランプの保証期間は 90 日間です（最初の消費者の購入日を基準とします）。欧州：ランプを除くすべての部品の保証期間は 1 年間、工作に対する保証期間は 1 年間、元のランプの保証期間は 90 日間です（最初の消費者の購入日を基準とします）。その他の地域または国：保証情報については、最寄りの販売店または最寄りの ViewSonic® オフィスに確認してください。ランプの保証は、契約条件、検証および承認に従います。メーカーが設置したランプのみに適用されます。別途購入したアクセサリランプは、すべて 90 日間保証されます。

保証対象者：

この保証は、最初の消費者購入者にのみ有効です。

保証対象外：

1. シリアル番号が破損、変更、または削除された製品。

2. 以下に起因する損傷、劣化、または誤動作：

- » 事故、誤用、怠慢、火災、洪水、雷、または自然災害、不正な製品の変更、または製品に付属の説明書の不順守。
- » 製品仕様外の操作。
- » 通常の使用目的以外での、または通常の条件下以外での製品の操作。
- » ViewSonic® の認可を受けていない者による修理または修理の試み。
- » 出荷による製品の損傷。
- » 製品の取り外しまたは取り付け。
- » 電力の変動や停電など、製品外部の原因。
- » ViewSonic の仕様を満たしていない消耗品または部品の使用。
- » 通常の損耗。
- » 製品の欠陥に関係しないその他の原因。

3. 取り外し、設置、設定サービス料金。

サービスを受ける方法：

1. 保証サービスを受ける方法については、ViewSonic® カスタマサポートにお問い合わせください（「カスタマーサポート」のページを参照してください）。製品のシリアル番号を提供してください。
2. 保証サービスを受けるために、以下を提供してください：(a) 元の日付付き売上伝票、(b) 名前、(c) 住所、(d) 問題の説明、(e) 製品のシリアル番号。
3. 元のコンテナに保管された製品を認可された ViewSonic® サービスセンターまたは ViewSonic® に持ち込むか、料金前払いで出荷してください。
4. 最寄りの ViewSonic® サービスセンターの追加情報または名称については、ViewSonic® にお問い合わせください。

黙示の保証の制限：

商品性および特定の目的への適合性を含め、ここに記載されている内容を超える明示または黙示の保証はありません。

損害の除外：

ViewSonic の責任は、製品の修理または交換の費用に限られます。ViewSonic® は、以下の責任を負わないものとします：

1. 不具合に起因する損害、製品の使用の喪失、時間の損失、利益の損失、事業機会の喪失、のれんの喪失、取引関係への干渉、または、その他の商業的損失（たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも）。
2. 偶発的、派生的、またはそれ以外のその他の損害。
3. 他の当事者による顧客に対するクレーム。

州法の効果：

本保証は、お客様に特定の法的権利を付与するものであり、また地方自治体ごとに異なるその他の権利を有する場合があります。一部の地方自治体では、黙示の保証の制限を認めない、または、付随的または間接的な損害の除外を認めないため、上記の制限および除外が適用されない場合があります。

米国およびカナダ外の販売：

米国およびカナダ以外で販売される ViewSonic® 製品の保証情報とサービスについては、ViewSonic® またはお近くの ViewSonic® 販売店にお問い合わせください。

中国本土（香港、マカオ、台湾除く）における本製品の保証期間は、保守保証保証書の条件に従います。

欧州およびロシアのユーザーの場合、提供される保証の詳細は、次の URL を参照してください：<http://www.viewsonic.com/eu/> の「サポート / 保証情報」。



ViewSonic®
See the difference®